

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定3級合格を目標とする	
教科書	問題集、プリント、模擬試験	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名
	2	熟語①
	3	熟語②
	4	異字同訓・同音異義
	5	誤字訂正
	6	項目別模擬試験①
	7	項目別模擬試験②
	8	項目別模擬試験③
	9	項目別模擬試験④
	10	項目別模擬試験⑤
	11	直前模擬試験①
	12	直前模擬試験②
	13	直前模擬試験③
	14	直前模擬試験④
	15	直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1 単位	
授業回数	1 5 回	
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習を実施する	
達成目標	面接時の入退室及び自己 P R を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本
	2	入退室の仕方
	3	スーツの着こなし、身嗜み確認
	4	自己 P R 作成①
	5	自己 P R 作成②
	6	自己 P R 作成③
	7	面接質問項目①
	8	面接質問項目②
	9	面接質問項目③
	10	業界研究①
	11	業界研究②
	12	模擬面接練習①
	13	模擬面接練習②
	14	面接効果測定①
	15	面接効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じた対人コミュニケーションを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な演習を実施する	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRの見直し
	2	自己分析の方法・注意点
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	自己分析③
	6	自己PRの作り方
	7	自己PRの作成①
	8	自己PRの作成②
	9	自己PRの作成③
	10	自己PRの作成④
	11	自己PRの作成⑤
	12	自己PRの修正①
	13	自己PRの修正②
	14	自己PR発表（効果測定①）
	15	自己PR発表（効果測定②）
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識を学ぶ	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級合格を目標とする	
教科書	問題集、プリント、模擬試験	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名
	2	熟語
	3	異字同訓・同音異義
	4	誤字訂正
	5	類義語
	6	反対語
	7	漢字の意味・使い方
	8	項目別模擬試験①
	9	項目別模擬試験②
	10	項目別模擬試験③
	11	直前模擬試験①
	12	直前模擬試験②
	13	直前模擬試験③
	14	直前模擬試験④
	15	直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う	
授業の進め方	前半は座学中心に、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさの表現を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	エントリーシート・面接カード作成①
	2	エントリーシート・面接カード作成②
	3	エントリーシート・面接カード作成③
	4	エントリーシート・面接カード作成④
	5	エントリーシート・面接カード作成⑤
	6	職種研究①
	7	職種研究②
	8	企業研究①
	9	企業研究②
	10	模擬面接練習①
	11	模擬面接練習②
	12	面接効果測定①
	13	面接効果測定②
	14	面接効果測定③
	15	面接効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション実践	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを実施する	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を習得する	
教科書	プリント、資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは
	2	グループディスカッションの役割
	3	抽象テーマ型グループディスカッション①
	4	抽象テーマ型グループディスカッション②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション③
	6	課題解決型グループディスカッション①
	7	課題解決型グループディスカッション②
	8	課題解決型グループディスカッション③
	9	資料読み取り型グループディスカッション①
	10	資料読み取り型グループディスカッション②
	11	資料読み取り型グループディスカッション③
	12	フェルミ推定
	13	KJ法
	14	その他特殊型①
	15	その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス文書作成	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	自身でビジネス文書を作成出来るようになる	
教科書	オリジナル教材	
特記		
授業計画	1	文字入力の基礎 1
	2	文字入力の基礎 2
	3	ビジネス文書作成 1 (案内文)
	4	ビジネス文書作成 2 (案内文)
	5	ビジネス文書作成 3 (送付状)
	6	ビジネス文書作成 4 (送付状)
	7	ビジネス文書作成 5 (社内文書)
	8	ビジネス文書作成 6 (社内文書)
	9	ビジネス文書作成 7 (表作成)
	10	ビジネス文書作成 8 (表作成)
	11	ビジネス文書作成 9 (表作成)
	12	ビジネス文書作成 10 (文章と表の組み合わせ)
	13	ビジネス文書作成 11 (文章と表の組み合わせ)
	14	ビジネス文書作成 12 (メール文章・メールの設定)
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	学校と職場の違い
	2	職場のマナー
	3	仕事の進め方
	4	報告、連絡、相談
	5	挨拶
	6	笑顔、お辞儀
	7	敬語①
	8	敬語②
	9	応対の基本①
	10	応対の基本②
	11	電話応対①
	12	電話応対②
	13	電話応対③
	14	電話応対④
	15	電話応対⑤
	16	効果測定①
	17	効果測定②
	18	接遇マナー①
	19	接遇マナー②
	20	接遇マナー③
	21	接客マナー①
	22	接客マナー②
	23	営業マナー①
	24	営業マナー②
	25	商品説明①
	26	商品説明②
	27	クレーム対応
	28	社会人マナー①
	29	社会人マナー②
	30	社会人マナー③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技・筆記による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	実務経験者の講師をお招きし、その講義から得た知識・技能で実習を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・球技などの実習を行う。	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に求められる体力錬成	
授業計画	1	公安職 職種研究
	2	公安職 体力試験と身体検査
	3	実務経験者によるトレーニング講座
	4	筋力トレーニング
	5	筋力トレーニング
	6	筋力トレーニング
	7	筋力トレーニング
	8	筋力トレーニング
	9	筋力トレーニング
	10	筋力トレーニング
	11	筋力トレーニング
	12	筋力トレーニング
	13	筋力トレーニング
	14	筋力トレーニング
	15	筋力トレーニング
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況によって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験数理分野対策Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	解法を理解し演習を繰り返すことで、早く正確に答えを導き出せるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数理対策応用演習 1
	2	数理対策応用演習 2
	3	数理対策応用演習 3
	4	数理対策応用演習 4
	5	数理対策応用演習 5
	6	数理対策応用演習 6
	7	数理対策応用演習 7
	8	数理対策応用演習 8
	9	数理対策応用演習 9
	10	数理対策応用演習 1 0
	11	数理対策応用演習 1 1
	12	数理対策応用演習 1 2
	13	数理対策応用演習 1 3
	14	数理対策応用演習 1 4
	15	数理対策応用演習 1 5
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への取り組み姿勢を総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	エアロビクス I	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	エアロビックダンスの特性・効果を理解し、構成する各種運動や動作を学ぶ	
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	各種テキストのエアロビクス範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記	フィットネスクラブ等でエアロビクスエクササイズの指導経験を持つ教員が経験を活かし、エアロビックダンスの知識および各種運動動作等の教育を行う。	
授業計画	1	エアロビックダンスの歴史、特性と効果
	2	有酸素性運動の基礎知識
	3	エアロビックダンス（ローインパクトのエアロビックダンス体験）
	4	エアロビックダンス（ロー・ハイインパクトのエアロビックダンス体験）
	5	エアロビックダンス（8ビートの理解）
	6	エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点①）
	7	エアロビックダンス（各ステップの特徴と注意点②）
	8	中間考査①
	9	エアロビックダンス（正しい姿勢と見本①）
	10	エアロビックダンス（正しい姿勢と見本②）
	11	エアロビックダンス（正しい姿勢と見本③）
	12	エアロビックダンス（運動強度①）
	13	エアロビックダンス（運動強度②）
	14	期末考査対策①
	15	期末考査①
	16	エアロビックダンス（上肢①）
	17	エアロビックダンス（上肢②）
	18	エアロビックダンス（全身①）
	19	エアロビックダンス（全身②）
	20	エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き①）
	21	エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き②）
	22	エアロビックダンス（カウントに合わせたステップ、正しい動き③）
	23	中間考査②
	24	エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン①）
	25	エアロビックダンス（安全で効果的な楽しいレッスン②）
	26	エアロビックダンス（プログラミング①）
	27	エアロビックダンス（プログラミング②）
	28	期末考査対策②
	29	期末考査②
	30	解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	水中運動 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	必修
授業方法	実習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	フィットネスクラブ等でアクアエクササイズやスイミングの指導経験を持つ教員が経験を活かし、水中運動に関する知識と運動動作の教育を行う。
授業計画	1 水泳や水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理
	2 水泳（浮身・ストリームラインの取り方、安全対策）
	3 水泳（4泳法の基本的動作の習得①）
	4 水泳（4泳法の基本的動作の習得②）
	5 水泳（4泳法の基本的動作の習得③）
	6 水泳（4泳法の基本的動作の習得④）
	7 水泳（4泳法の基本的動作の習得⑤）
	8 中間考査①
	9 水泳（4泳法の基本的動作の習得①）
	10 水泳（4泳法の基本的動作の習得②）
	11 水泳（4泳法の基本的動作の習得③）
	12 水泳（4泳法の指導法①）
	13 水泳（4泳法の指導法②）
	14 期末考査対策①
	15 期末考査①
	16 アクアエクササイズの基本の動き、アクアエクササイズの歴史と特性・効果
	17 水中運動（水中ウォーキングの種類と基本動作）
	18 水中運動（水中ウォーキングの運動強度）
	19 水中運動（水中ウォーキングの脚・手の動き）
	20 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング①）
	21 水中運動（水中ウォーキングのプログラミング②）
	22 水中運動（水中ウォーキングの指導法①）
	23 中間考査②
	24 水中運動（水中ウォーキングの指導法②）
	25 水中運動（水中ウォーキングの指導法③）
	26 水中運動（水中ウォーキングの指導法④）
	27 水中運動（水中ウォーキングの指導法⑤）
	28 期末考査対策②
	29 期末考査②
	30 解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	就職活動の筆記試験対策として一般常識問題の対策と傾向を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	筆記試験対策（適性検査①）
	2	筆記試験対策（適性検査②）
	3	筆記試験対策（適性検査③）
	4	筆記試験対策（適性検査④）
	5	筆記試験対策（SPI3能力検査①）
	6	筆記試験対策（SPI3能力検査②）
	7	筆記試験対策（SPI3性格検査①）
	8	筆記試験対策（SPI3性格検査②）
	9	筆記試験対策（SCOA①）
	10	筆記試験対策（SCOA②）
	11	筆記試験対策（SHL①）
	12	筆記試験対策（SHL②）
	13	筆記試験対策（Webテスト①）
	14	筆記試験対策（Webテスト②）
	15	筆記試験対策（Webテスト③）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	就職活動の筆記試験対策としてSPI試験の傾向を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	筆記試験対策（非言語①）
	2	筆記試験対策（非言語②）
	3	筆記試験対策（非言語③）
	4	筆記試験対策（非言語④）
	5	筆記試験対策（非言語⑤）
	6	筆記試験対策（非言語⑥）
	7	筆記試験対策（言語①）
	8	筆記試験対策（言語②）
	9	筆記試験対策（言語③）
	10	筆記試験対策（言語④）
	11	筆記試験対策（言語⑤）
	12	筆記試験対策（構造的把握力検査①）
	13	筆記試験対策（構造的把握力検査②）
	14	筆記試験対策（性格検査①）
	15	筆記試験対策（性格検査②）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	様々な面接で対応できる技術を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	集団面接の基本
	2	集団面接練習①
	3	集団面接練習②
	4	効果測定①
	5	集団討論の基本
	6	集団討論練習①
	7	集団討論練習②
	8	効果測定②
	9	個人面接の基本
	10	個人面接練習①
	11	個人面接練習②
	12	効果測定③
	13	書類送付方法
	14	ビジネス電話
	15	ビジネスメール
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する	
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする	
教科書	プリント	
特記		
授業計画	1	スポーツキャリア学習①
	2	スポーツキャリア学習②
	3	スポーツキャリア学習③
	4	スポーツキャリア学習④
	5	スポーツキャリア学習⑤
	6	スポーツキャリア学習⑥
	7	スポーツキャリア学習⑦
	8	スポーツキャリア学習⑧
	9	スポーツキャリア学習⑨
	10	スポーツキャリア学習⑩
	11	スポーツキャリア学習⑪
	12	スポーツキャリア学習⑫
	13	スポーツキャリア学習⑬
	14	スポーツキャリア学習⑭
	15	スポーツキャリア学習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅤ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	就職活動時や就職内定後に必要となる知識を学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義と演習を実施する	
達成目標	希望する分野への就職や資格試験合格を目標とする	
教科書	プリント	
特記		
授業計画	1	スポーツキャリア演習①
	2	スポーツキャリア演習②
	3	スポーツキャリア演習③
	4	スポーツキャリア演習④
	5	スポーツキャリア演習⑤
	6	スポーツキャリア演習⑥
	7	スポーツキャリア演習⑦
	8	スポーツキャリア演習⑧
	9	スポーツキャリア演習⑨
	10	スポーツキャリア演習⑩
	11	スポーツキャリア演習⑪
	12	スポーツキャリア演習⑫
	13	スポーツキャリア演習⑬
	14	スポーツキャリア演習⑭
	15	スポーツキャリア演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ栄養学	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を学ぶ	
授業の進め方	実務経験のある教員がより専門的な講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な栄養学範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記	アスリートや特定保健指導の対象者等への、食事計画の立案や栄養指導等の実務経験を持つ教員が経験を活かし、栄養に関する知識および食事指導等の教育を行う。	
授業計画	1	五大栄養素の役割①
	2	五大栄養素の役割②
	3	五大栄養素の役割③
	4	五大栄養素の役割④
	5	食物の消化吸収
	6	食物選択のためのガイド・食品群
	7	中間考査①
	8	日本人の食事摂取基準
	9	食事バランスガイド
	10	エネルギー代謝①
	11	エネルギー代謝②
	12	水分摂取のガイドライン
	13	アスリートの競技特性と栄養摂取のガイドライン
	14	トレーニングスケジュールと食事
	15	期末考査①
	16	トレーニングや試合時の栄養①
	17	トレーニングや試合時の栄養②
	18	減量時の栄養管理①
	19	減量時の栄養管理②
	20	増量時の栄養管理①
	21	増量時の栄養管理②
	22	中間考査②
	23	貧血に対する栄養管理
	24	女性・子供・高齢者に対する栄養管理
	25	摂食障害の予防
	26	体作りと栄養・食生活
	27	海外遠征時の栄養管理
	28	健康日本21の栄養・食生活分野の目標、食生活指針
	29	期末考査②
	30	解説、サプリメントの摂取方法
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	解剖学 I	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を学ぶ	
授業の進め方	実務経験のある教員がより専門的な講義と問題演習を実施する	
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション	
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。	
授業計画	1	上肢（骨①）
	2	上肢（骨②）
	3	上肢（関節①）
	4	上肢（関節②）
	5	上肢（筋肉①）
	6	上肢（筋肉②）
	7	中間考査対策①
	8	中間考査①
	9	脊柱の基本構造
	10	脊柱と胸郭（骨①）
	11	脊柱と胸郭（骨②）
	12	脊柱と胸郭（関節①）
	13	脊柱と胸郭（関節②）
	14	期末考査対策①
	15	期末考査①
	16	関節の運動を表わす用語
	17	下肢（骨①）
	18	下肢（骨②）
	19	下肢（関節①）
	20	下肢（関節②）
	21	下肢（関節③）
	22	中間考査対策②
	23	中間考査②
	24	下肢（筋肉①）
	25	下肢（筋肉②）
	26	下肢（筋肉③）
	27	下肢のまとめ
	28	上肢、脊柱と胸郭のまとめ
	29	期末考査対策②
	30	期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	1年次
開講区分	通年
科目区分	選択
授業方法	講義及び実習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を学ぶ
授業の進め方	実務経験のある教員がより実践的な指導とフィードバックを実施する
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な救急処置範囲の知識を習得する
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション
特記	鍼灸院や整骨院等で運動機能障害を持つ患者に治療やリハビリテーション等の施術経験を持つ教員が経験を活かし、身体のあらゆる機能について教育を行う。
授業計画	1 救急処置法①
	2 救急処置法②
	3 救急処置法③
	4 テーピング総論
	5 テーピング（足関節①）
	6 テーピング（足関節②）
	7 テーピング（足関節③）
	8 テーピング（足関節④）
	9 中間考査（筆記）
	10 中間考査（実技①）
	11 テーピング（膝関節①）
	12 テーピング（膝関節②）
	13 テーピング（膝関節③）
	14 テーピング（膝関節④）
	15 テーピング（膝関節⑤）
	16 テーピング（下腿①）
	17 テーピング（下腿②）
	18 期末考査（実技①）
	19 マッサージ（下肢①）
	20 マッサージ（下肢②）
	21 マッサージ（下肢③）
	22 マッサージ（下肢④）
	23 中間考査（実技②）
	24 マッサージ（上肢①）
	25 マッサージ（上肢②）
	26 マッサージ（上肢③）
	27 マッサージ（上肢④）
	28 マッサージ（上肢⑤）
	29 マッサージ（全身）
	30 期末考査（実技②）
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない （不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能）

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	目的に応じたトレーニング方法と効果を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類
	2	アイソトニックトレーニングの実際①
	3	アイソトニックトレーニングの実際②
	4	アイソメトリックトレーニングの実際
	5	サーキットトレーニング
	6	レジスタンストレーニングの効果
	7	レジスタンストレーニングのプログラムの条件設定①
	8	レジスタンストレーニングのプログラムの条件設定②
	9	中間考査①
	10	レジスタンストレーニングの実技と指導法①
	11	レジスタンストレーニングの実技と指導法②
	12	レジスタンストレーニングの実技と指導法③
	13	レジスタンストレーニングの実技と指導法④
	14	期末考査①
	15	パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成①
	16	パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成②
	17	パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③
	18	パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④
	19	パワー向上トレーニングの実技と指導法①（パワークリーン）
	20	パワー向上トレーニングの実技と指導法②（ダンベルパワークリーン）
	21	パワー向上トレーニングの実技と指導法③（スナッチ）
	22	パワー向上トレーニングの実技と指導法④（ジャーク、SQジャンプ）
	23	中間考査②
	24	パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス①）
	25	パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス②）
	26	パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス③）
	27	パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス④）
	28	パワー向上トレーニングの実技と指導法（プライオメトリクス⑤）
	29	期末考査②
	30	解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運動生理学 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	運動の発現
	2	骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構①
	3	骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構②
	4	筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ
	5	筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋
	6	中間審査対策①
	7	中間審査①
	8	運動の持続と呼吸循環系①
	9	運動の持続と呼吸循環系②
	10	呼吸循環系の機能の指標と調節機構
	11	運動に伴う呼吸循環機能の変化
	12	運動時の酸素利用①
	13	運動時の酸素利用②
	14	期末審査対策①
	15	期末審査①
	16	トレーニングによる呼吸循環系の適応
	17	運動と血液・体液
	18	青年期までの発育と発達
	19	成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因
	20	中間審査対策②
	21	中間審査②
	22	呼吸循環系の基礎的情報①
	23	呼吸循環系の基礎的情報②
	24	運動と呼吸循環系①
	25	運動と呼吸循環系②
	26	トレーニングと呼吸循環系①
	27	トレーニングと呼吸循環系②
	28	期末審査対策②
	29	期末審査②
	30	解説
成績評価方法 (試験実施方法)	期末審査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ心理学 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者の試験に必要な心理学的基礎の範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因
	2	運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因
	3	運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論①
	4	運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論②
	5	募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点
	6	中間考査対策
	7	中間考査
	8	指導と受講のミスマッチと解決方法
	9	個別指導における動機づけとカウンセリングの方法①
	10	個別指導における動機づけとカウンセリングの方法②
	11	総まとめ
	12	問題演習①
	13	問題演習②
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	発育発達論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な発育発達範囲の知識を習得する	
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	イントロダクション
	2	発育発達研究の基礎
	3	出産と新生児
	4	乳幼児の運動能力の発達①
	5	乳幼児の運動能力の発達②
	6	幼児の運動能力①
	7	中間考查対策①
	8	中間考查①
	9	幼児の運動能力②
	10	体力の構造と測定①
	11	体力の構造と測定②
	12	形態の発育①
	13	形態の発育②
	14	期末考查対策①
	15	期末考查①
	16	機能の発達①
	17	機能の発達②
	18	機能の発達③
	19	運動能力構造の変化①
	20	運動能力構造の変化②
	21	身体発達に影響する要因と問題
	22	中間考查対策②
	23	中間考查②
	24	生活習慣病
	25	現代の健康問題①
	26	現代の健康問題②
	27	老化①
	28	老化②
	29	期末考查対策②
	30	期末考查②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考查の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ社会学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	社会生活とスポーツの関連性を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	生涯スポーツの知識を習得する	
教科書	生涯スポーツ実践論	
特記		
授業計画	1	数字で見る日本のスポーツ
	2	生涯スポーツ社会を目指して①
	3	生涯スポーツ社会を目指して②
	4	生涯スポーツとヘルスプロモーション
	5	地域社会と生涯スポーツイベント
	6	生涯スポーツ指導者とボランティア①
	7	中間考査
	8	生涯スポーツ指導者とボランティア②
	9	高齢者のスポーツ参加
	10	障がい者のスポーツ参加
	11	生涯スポーツとニュースポーツ
	12	スポーツクラブの現状と課題
	13	スポーツクラブの運営
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	グループエクササイズ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	J A F A G F I 共通筆記資格試験合格を目標とする	
教科書	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論	
特記		
授業計画	1	イントロダクション
	2	フィットネス概論
	3	運動器の基礎解剖学①
	4	運動器の基礎解剖学②
	5	運動器の基礎解剖学③
	6	運動生理学①
	7	運動生理学②
	8	運動生理学③
	9	中間考査対策①
	10	中間考査①
	11	体力学・トレーニング科学・運動処方①
	12	体力学・トレーニング科学・運動処方②
	13	体力学・トレーニング科学・運動処方③
	14	運動と栄養・体重管理①
	15	運動と栄養・体重管理②
	16	心と心理
	17	運動と安全管理、事故・傷害の予防
	18	期末考査①
	19	グループエクササイズ①
	20	グループエクササイズ②
	21	グループエクササイズ③
	22	グループエクササイズ④
	23	中間考査対策②
	24	中間考査②
	25	対策問題演習①
	26	対策問題演習②
	27	対策問題演習③
	28	対策問題演習④
	29	対策問題演習⑤
	30	期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	レジスタンスエクササイズ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ	
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する	
達成目標	J A F A G F I - R E I 資格試験合格を目標とする	
教科書	レジスタンスエクササイズ指導理論	
特記		
授業計画	1	骨格筋の機能解剖学（筆記）
	2	レジスタンスエクササイズの基本の動き（筆記）
	3	レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技①）
	4	レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技②）
	5	レジスタンスエクササイズの基本の動き（実技③）
	6	中間考査（実技）
	7	骨格筋の解剖生理学（筆記）
	8	レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記①）
	9	レジスタンスエクササイズの基礎知識（筆記②）
	10	レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技①）
	11	レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技②）
	12	レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技③）
	13	レジスタンスエクササイズのインストラクション（実技④）
	14	期末考査（筆記）
	15	期末考査（実技）
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ストレッチングエクササイズ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識と実技スキルを学ぶ	
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する	
達成目標	J A F A G F I - S E I 資格試験合格を目標とする	
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論	
特記		
授業計画	1	ストレッチング（実技①）
	2	ストレッチング（実技②）
	3	ストレッチングエクササイズの基本の動き（筆記）
	4	ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技①）
	5	ストレッチングエクササイズの基本の動き（実技②）
	6	中間考査（実技）
	7	骨格筋の解剖生理学（筆記）
	8	ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記①）
	9	ストレッチングエクササイズの基礎知識（筆記②）
	10	ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技①）
	11	ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技②）
	12	ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技③）
	13	ストレッチングエクササイズのインストラクション（実技④）
	14	期末考査（筆記）
	15	期末考査（実技）
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ダイビング実習	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ダイビングの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	PADIオープン・ウォーター・ダイバー資格試験合格を目標とする	
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル	
特記		
授業計画	1	ダイバーに必要な基礎知識（水圧と空気の体積の影響）
	2	ダイバーに必要な基礎知識（水中でのものの見え方・音の聞こえ方）
	3	ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングの環境）
	4	ダイバーに必要な基礎知識（ダイビングと健康管理）
	5	トラブルの管理
	6	器材について（選び方と手入れ）
	7	器材について（ウェット/ドライスーツ・水面シグナル器材）
	8	基礎知識と器材についての復習
	9	ダイバーとしてのスキル（スクーバキットのセッティング）
	10	ダイバーとしてのスキル（マスククリア・マスク脱着）
	11	ダイバーとしてのスキル（中性浮力）
	12	ダイバーとしてのスキル（潜降と浮上・ハンドシグナル）
	13	ダイバーとしてのスキル（緊急時の対処法）
	14	ダイブコンピューターとテーブルの使い方
	15	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャンプ実習	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	キャンプインストラクターの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	キャンプインストラクター資格試験合格を目標とする	
教科書	キャンプ指導者入門	
特記		
授業計画	1	キャンプの特性（キャンプの意義と目的）
	2	キャンプの特性（キャンプのルールとマナー）
	3	キャンプの特性（キャンプと環境教育）
	4	キャンプの対象（人間の心身の理解）
	5	キャンプの対象（自然環境の理解）
	6	キャンプの指導（キャンプインストラクターの資質と役割）
	7	キャンプの指導（指導者のためのコミュニケーションスキル）
	8	キャンプの安全についての危険予知とその対処
	9	キャンプの基本装備（個人装備と団体装備）
	10	キャンプに必要な生活技術（テント設営）
	11	キャンプに必要な生活技術（アウトドアクッキング）
	12	キャンプに必要な生活技術（ロープワーク）
	13	キャンプで行う4つのアクティビティ
	14	実技試験①
	15	実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スキー基礎技術論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	スキーの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	バッジテスト5級以上の合格を目標とする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	スキーの現状
	2	器具の選び方、セッティングと着用方法
	3	基本姿勢（ボーゲン）と開脚歩行
	4	停止と安全な転び方
	5	スキーにおける身体の使い方
	6	プルークボーゲンでの滑走（基礎）
	7	プルークボーゲンでの滑走（応用）
	8	ターン基礎（緩斜面でのパラレルターン）
	9	ターン基礎（緩斜面でのシュテムターン）
	10	ターン応用（中斜面でのパラレルターン）
	11	ターン応用（中斜面でのシュテムターン）
	12	ターン応用（中急斜面でのパラレルターン）
	13	スキーヤーとしてのルールとマナー
	14	実技試験①
	15	実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スノーボード基礎技術論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	スノーボードの基礎的な知識や技術を実習を通じて学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	バッジテスト5級以上の合格を目標とする	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	スノーボードの現状
	2	セッティングと着用方法、スタンスの確認
	3	基本姿勢
	4	体重のかけ方
	5	安全な転び方
	6	スケーティング基礎
	7	スケーティングでの方向転換
	8	ターンにおける身体の使い方（上半身・下半身）
	9	ターン基礎（緩斜面での停止・連続ターン）
	10	ターン基礎（緩斜面でのロングターン・ミドルターン）
	11	ターン応用（中斜面でのショートターン・カービングターンロング）
	12	ターン応用（中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング）
	13	スノーボーダーにおけるルールとマナー
	14	実技試験①
	15	実技試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング理論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成方法を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	有酸素性運動（プログラミング）
	2	有酸素性運動（プログラムの進行）
	3	有酸素性運動（機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点）
	4	有酸素性運動（有酸素性運動の選択と指導上の留意点）
	5	レジスタンス運動（安全性と効果）
	6	レジスタンス運動（負荷設定法、負荷強度、反復回数）
	7	レジスタンス運動（レジスタンス運動の種類）
	8	レジスタンス運動（レジスタンス運動の方法）
	9	ケーススタディによるプログラム作成①
	10	ケーススタディによるプログラム作成②
	11	ケーススタディによるプログラム作成③
	12	ケーススタディによるプログラム作成④
	13	ケーススタディによるプログラム作成⑤
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	運動指導者に必要な筋力トレーニングの方法を学ぶ	
授業の進め方	レジスタンストレーニング（基礎）の種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（レジスタンス運動の分類、アイソトニックトレーニングの実際）
	2	フリーウエイトトレーニング①
	3	フリーウエイトトレーニング②
	4	フリーウエイトトレーニング③
	5	アイソメトリックトレーニング①
	6	アイソメトリックトレーニング②
	7	アイソメトリックトレーニング③
	8	自重や身近な用具を使ったトレーニング①
	9	自重や身近な用具を使ったトレーニング②
	10	自重や身近な用具を使ったトレーニング③
	11	サーキットトレーニング
	12	レジスタンストレーニングプログラミングの基礎①
	13	レジスタンストレーニングプログラミングの基礎②
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	パーソナルトレーニングを行う運動指導者に必要なトレーニングスキル・テクニックを学ぶ	
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	トレーニング指導に必要なスキル（ペアストレッチ、トレーニング補助法）を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（マンツーマン指導とグループ指導の違いについて）
	2	パーソナルトレーニングの補助テクニック①
	3	パーソナルトレーニングの補助テクニック②
	4	パーソナルトレーニングの補助テクニック③
	5	パーソナルストレッチ基礎①
	6	パーソナルストレッチ基礎②
	7	パーソナルストレッチ基礎③
	8	自体重トレーニングの補助法・負荷法①
	9	自体重トレーニングの補助法・負荷法②
	10	自体重トレーニングの補助法・負荷法③
	11	ウォームアップとクールダウン
	12	パーソナルトレーニングのプログラミング基礎
	13	パーソナルトレーニングのプログラミング応用
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	運動指導者に必要なトレーニングルームの管理、運営、指導方法を実践を通じて学ぶ	
授業の進め方	レジスタンストレーニング（応用）の種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（トレーニングルームの特徴、マシン指導法、補助法）
	2	フリーウエイトトレーニング指導・補助法①
	3	フリーウエイトトレーニング指導・補助法②
	4	フリーウエイトトレーニング指導・補助法③
	5	アイソメトリックトレーニング指導・補助法①
	6	アイソメトリックトレーニング指導・補助法②
	7	アイソメトリックトレーニング指導・補助法③
	8	自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法①
	9	自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法②
	10	サーキットトレーニング指導・補助法①
	11	サーキットトレーニング指導・補助法②
	12	レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法①
	13	レジスタンストレーニングのプログラミング指導・補助法②
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	リハビリテーション I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	評価方法と評価法を活用したアスリハプログラムの作成方法について学ぶ	
授業の進め方	リハビリテーションの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	基本的なアスリハプログラムを理解し、作成方法を習得する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	アスレティックリハビリテーション概論
	2	アスリハにおける評価の流れ（ROM検査）
	3	アスリハにおける評価の流れ（MMT）
	4	アスリハにおける評価の流れ（整形外科的テスト）
	5	アスリハにおける評価の流れ（触診：上肢）
	6	アスリハにおける評価の流れ（触診：下肢）
	7	アスリハにおける評価の流れ（触診：脊柱と体幹）
	8	アスリハのプログラム作成の実際（治癒過程、物理療法、徒手療法の理解）
	9	アスリハのプログラム作成の実際（関節可動域訓練）
	10	アスリハのプログラム作成の実際（筋力強化訓練①）
	11	アスリハのプログラム作成の実際（筋力強化訓練②）
	12	アスリハのプログラム作成の実際（全身持久力、敏捷性、バランス訓練）
	13	アスリハのプログラム作成の実際（時期による段階的なアスリハ、1日の流れ）
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フィットネスマネジメント	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	フィットネスクラブ・マネジメント技能検定3級合格を目標とする	
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト	
特記		
授業計画	1	フィットネス産業①
	2	フィットネス産業②
	3	健康づくり①
	4	健康づくり②
	5	運動・トレーニングの基礎①
	6	運動・トレーニングの基礎②
	7	店舗運営①
	8	店舗運営②
	9	顧客マネジメント①
	10	顧客マネジメント②
	11	チームワークとコミュニケーション
	12	施設・設備管理の意義と重要性
	13	安全衛生、過去問題演習
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フィットネス実践 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ	
授業の進め方	グループレッスンの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成）
	2	レスンプログラミング基礎（ウォームアップとクールダウン）
	3	レスンプログラミング基礎（筋コンディショニング）
	4	レスンプログラミング基礎（その他ツール使用方法）
	5	レスンプログラミング基礎（カウントとキューイング）
	6	レスンプログラミング基礎（モデルレッスン作成）
	7	レスンプログラミング基礎（モデルレッスン実践）
	8	特殊な対象への運動指導時の留意点①
	9	特殊な対象への運動指導時の留意点②
	10	エクササイズ①
	11	エクササイズ②
	12	エクササイズ③
	13	エクササイズ④
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	幼児体育指導者理論 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ	
授業の進め方	筆記試験の対策指導を実施する	
達成目標	幼児体育指導者検定2級合格を目標とする	
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級	
特記		
授業計画	1	幼児の発達の様相（発達の一般的傾向）
	2	幼児の発達の様相（幼児期における身体的発達の意義）
	3	幼児期における「利き手」の発達
	4	幼児における動機づけと目標
	5	学習の最適期について（レディネス）
	6	学習の最適期について（臨界期）
	7	運動技能学習の過程（学習曲線）
	8	運動技能学習の過程（潜在的学習期）
	9	運動技能学習の過程（学習の初期）
	10	運動技能学習の過程（高原期と飛躍期）
	11	運動技能学習の過程（完成期）
	12	学習方法について（全習法）
	13	学習方法について（分習法）
	14	教育の6原則
	15	筆記試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	幼児体育指導者実践	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	運動あそびの面白さや素晴らしさ、体を動かすことの楽しさを伝えられる指導方法を学ぶ	
授業の進め方	実技試験の対策指導を実施する	
達成目標	幼児体育指導者検定2級合格を目標とする	
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級	
特記		
授業計画	1	実技講習の意義
	2	リズム体操（やさい体操①）
	3	リズム体操（やさい体操②）
	4	マット運動（前転・後転）
	5	マット運動（前転・後転の補助）
	6	マット運動（ブリッジ実演と補助）
	7	ゲームあそび
	8	跳び箱（開脚跳び）
	9	跳び箱（開脚跳びの横補助・後ろ補助）
	10	なわとび（前とび・拍子とび）
	11	なわとび（なわの指導法・結び方）
	12	ボールを使った指導法
	13	基本運動（低い姿勢の運動・立位の運動）
	14	基本運動（バランス・体支持の運動）
	15	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	インターン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	フィットネスクラブの基本的な知識や接客を学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなど接客に必要な知識を身に付ける	
教科書	実習日誌	
特記		
授業計画	1	インターン実習（基礎①）
	2	インターン実習（基礎②）
	3	インターン実習（基礎③）
	4	インターン実習（基礎④）
	5	インターン実習（基礎⑤）
	6	インターン実習（基礎⑥）
	7	インターン実習（基礎⑦）
	8	インターン実習（基礎⑧）
	9	インターン実習（基礎⑨）
	10	インターン実習（基礎⑩）
	11	インターン実習（基礎⑪）
	12	インターン実習（基礎⑫）
	13	インターン実習（基礎⑬）
	14	インターン実習（基礎⑭）
	15	インターン実習（基礎⑮）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習先の評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価 (授業計画の内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある)	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	インターン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	フィットネスクラブの実践的な知識や接客を学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなど接客に必要な知識を身に付ける	
教科書	実習日誌	
特記		
授業計画	1	インターン実習（応用①）
	2	インターン実習（応用②）
	3	インターン実習（応用③）
	4	インターン実習（応用④）
	5	インターン実習（応用⑤）
	6	インターン実習（応用⑥）
	7	インターン実習（応用⑦）
	8	インターン実習（応用⑧）
	9	インターン実習（応用⑨）
	10	インターン実習（応用⑩）
	11	インターン実習（応用⑪）
	12	インターン実習（応用⑫）
	13	インターン実習（応用⑬）
	14	インターン実習（応用⑭）
	15	インターン実習（応用⑮）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習先の評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価 (授業計画の内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある)	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	インターン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	実習現場の基本的な知識や接客を学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなど接客に必要な知識を身に付ける	
教科書	実習日誌	
特記		
授業計画	1	インターン実習（基礎①）
	2	インターン実習（基礎②）
	3	インターン実習（基礎③）
	4	インターン実習（基礎④）
	5	インターン実習（基礎⑤）
	6	インターン実習（基礎⑥）
	7	インターン実習（基礎⑦）
	8	インターン実習（基礎⑧）
	9	インターン実習（基礎⑨）
	10	インターン実習（基礎⑩）
	11	インターン実習（基礎⑪）
	12	インターン実習（基礎⑫）
	13	インターン実習（基礎⑬）
	14	インターン実習（基礎⑭）
	15	インターン実習（基礎⑮）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習先の評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価 (授業計画の内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある)	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	インターン実習Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	実習現場の実践的な知識や接客を学ぶ	
授業の進め方	実践的な指導とフィードバックを実施する	
達成目標	スポーツトレーナーやスポーツクラブインストラクターなど接客に必要な知識を身に付ける	
教科書	実習日誌	
特記		
授業計画	1	インターン実習（応用①）
	2	インターン実習（応用②）
	3	インターン実習（応用③）
	4	インターン実習（応用④）
	5	インターン実習（応用⑤）
	6	インターン実習（応用⑥）
	7	インターン実習（応用⑦）
	8	インターン実習（応用⑧）
	9	インターン実習（応用⑨）
	10	インターン実習（応用⑩）
	11	インターン実習（応用⑪）
	12	インターン実習（応用⑫）
	13	インターン実習（応用⑬）
	14	インターン実習（応用⑭）
	15	インターン実習（応用⑮）
成績評価方法 (試験実施方法)	実習先の評価と日誌、取り組み姿勢により総合的に評価 (授業計画の内容は、実習先の状況によって変更の可能性がある)	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	バイオメカニクス	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	力学的視点から運動の仕組みを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なバイオメカニクス範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	筋骨格系の機能解剖学①
	2	筋骨格系の機能解剖学②
	3	筋骨格系の機能解剖学③
	4	筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式①
	5	筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式②
	6	中間考査対策①
	7	中間考査①
	8	着地衝撃とその緩和法
	9	水中と陸上の働き①
	10	水中と陸上の働き②
	11	期末考査対策①
	12	期末考査①
	13	問題演習
	14	バイオメカニクスの基礎理論①
	15	バイオメカニクスの基礎理論②
	16	バイオメカニクスの基礎理論③
	17	バイオメカニクスの基礎理論④
	18	バイオメカニクスの基礎理論⑤
	19	中間考査対策②
	20	中間考査②
	21	スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス①
	22	スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス②
	23	スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス③
	24	スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス④
	25	スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑤
	26	スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑥
	27	問題演習①
	28	問題演習②
	29	期末考査対策②
	30	期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ医学 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なスポーツ医学（外科）範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	メディカルチェックと運動中止の判定
	2	内科的な急性障害、慢性障害
	3	救急処置①
	4	救急処置②
	5	整形外科的傷害と外科的救急処置
	6	中間考査
	7	スポーツ傷害とは
	8	頸部の傷害
	9	肩の傷害
	10	肘、手、腰背の傷害
	11	股関節、膝関節の傷害
	12	大腿、下腿、足部の傷害
	13	発育成長期・加齢・女性に関するの傷害
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ医学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なスポーツ医学（内科）範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	生活習慣病
	2	がん
	3	心血管疾患
	4	糖尿病
	5	高血圧
	6	中間考査対策
	7	中間考査
	8	肥満
	9	脂質異常症
	10	生活習慣病の運動処方①
	11	生活習慣病の運動処方①
	12	期末考査対策
	13	期末考査
	14	問題演習
	15	問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	測定評価	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体力テストの実践と評価について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な測定評価範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	体力について
	2	身体組成①
	3	身体組成②
	4	新体力テスト①（実技）
	5	新体力テスト②
	6	運動器障害の予防と体力測定結果の活用
	7	中間考査
	8	トレーニング効果の測定と評価の実際①
	9	トレーニング効果の測定と評価の実際②
	10	トレーニング効果の測定と評価の実際③
	11	測定データの活用とデータの活用法①
	12	測定データの活用とデータの活用法②
	13	測定データの活用とデータの活用法③
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運動処方	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	対象の違いによる諸条件を考慮した安全かつ効果的な運動プログラムを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な運動処方範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	トレーニングの原理・原則
	2	運動プログラム作成の基礎
	3	ウォーミングアップとクーリングダウン
	4	有酸素性運動
	5	レジスタンス運動
	6	中間考査対策
	7	中間考査
	8	トレーニング計画①
	9	トレーニング計画②
	10	トレーニング計画③
	11	レジスタンストレーニングのプログラム①
	12	レジスタンストレーニングのプログラム②
	13	レジスタンストレーニングのプログラム③
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	健康管理概論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況とおよび高齢化の現状を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な健康管理概論範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策①
	2	わが国の現状と健康づくり施策②
	3	生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について
	4	介護予防
	5	中間考査対策
	6	中間考査
	7	体力の概念①
	8	体力の概念②
	9	体力の要素と体力モデル①
	10	体力の要素と体力モデル②
	11	体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング
	12	問題演習①
	13	問題演習②
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	スポーツ心理学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	身体活動・運動実践がアスリートの心身に与える影響について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	JATIの試験に必要な運動指導の心理学的基礎範囲の知識を習得する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	運動と心理に関する基礎理論①
	2	運動と心理に関する基礎理論②
	3	運動と心理に関する基礎理論③
	4	運動学習①
	5	運動学習②
	6	運動学習③
	7	運動学習④
	8	中間考査対策
	9	中間考査
	10	問題演習①
	11	問題演習②
	12	問題演習③
	13	問題演習④
	14	問題演習⑤
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践Ⅴ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	現場に必要なトレーニングの知識習得及びプログラムの立案と作成を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	ウォームアップとクールダウン（実技①）
	2	ウォームアップとクールダウン（実技②）
	3	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン①
	4	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン②
	5	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウン（実技）
	6	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際（実技①）
	7	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際（実技②）
	8	中間考査①
	9	トレーニング計画の立案①
	10	トレーニング計画の立案②
	11	トレーニング計画の立案（実技）
	12	特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技①）
	13	特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技②）
	14	特別な対象のためのトレーニングプログラム（実技③）
	15	期末考査①
	16	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成①
	17	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成②
	18	スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成（実技）
	19	スピード向上トレーニングの実際（実技①）
	20	スピード向上トレーニングの実際（実技②）
	21	スピード向上トレーニングの実際（実技③）
	22	中間考査②
	23	トレーニング指導者の実務①
	24	トレーニング指導者の実務②
	25	トレーニング指導者に関わる法律
	26	トレーニングと情報活用
	27	期末考査②
	28	解説
	29	問題演習①
	30	問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ジョグ&ウォーク	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	エンデュランストレーニングプログラムの立案と作成を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なウォーキングとジョギング範囲の知識を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性
	2	ウォーキングとジョギングによる運動効果、時間と頻度（実技）
	3	ウォーキングとジョギングのエネルギー消費量（実技）
	4	ウォーキングとジョギングの基本的なフォーム、安全上の注意点（実技）
	5	ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法
	6	ウォーキングとジョギングのプログラム（実技）
	7	中間考査
	8	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成①
	9	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成②
	10	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成③
	11	持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④
	12	持久力向上トレーニングの実際①
	13	持久力向上トレーニングの実際②
	14	持久力向上トレーニングの実際③
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	アクアエクササイズ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	アクアエクササイズインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ	
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する	
達成目標	J A F A G F I - A Q W I ・ A Q D I 試験合格を目標とする	
教科書	アクアエクササイズ指導理論	
特記		
授業計画	1	水中レジスタンス、アクアダンスの特性・効果
	2	水中レジスタンスの基本動作、運動強度
	3	水中レジスタンスのプログラミング
	4	水中レジスタンスの指導法①
	5	水中レジスタンスの指導法②
	6	水中ウォーキング、レジスタンスの指導法①
	7	水中ウォーキング、レジスタンスの指導法②
	8	中間考査
	9	腰痛者、妊婦などの対象者への指導、注意点
	10	アクアダンスの基本動作
	11	アクアダンスの運動強度
	12	アクアダンスのプログラミング
	13	アクアダンスのコリオグラフィー
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	エアロビクスⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	エアロビクスインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ	
授業の進め方	筆記試験と実技試験の対策指導を実施する	
達成目標	J A F A G F I - A D I 試験合格を目標とする	
教科書		
特記		
授業計画	1	環境条件（音楽、心拍数、強度、服装、用具、シューズ、床）
	2	運動指導上の注意点、指導者の役割
	3	エアロビックダンス（プログラミング：運動強度）
	4	エアロビックダンス（プログラミング：つなぎ、コンビネーション）
	5	エアロビックダンス（プログラミング：安全性、リニア）
	6	エアロビックダンス（指導法：キューイング）
	7	指導の循環
	8	中間考査
	9	エアロビックダンス（指導練習①）
	10	エアロビックダンス（指導練習②）
	11	エアロビックダンス（指導練習③）
	12	エアロビックダンス（指導練習④）
	13	エアロビックダンス（指導練習⑤）
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	陸上運動	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	エアロビクス・レジスタンスの特性・効果を理解し、指導法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う	
達成目標	健康運動実践指導者実技試験（陸上運動）合格を目標とする	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	エアロビックダンス・レジスタンスの課題動作
	2	エアロビックダンス（課題動作、フォーム確認）
	3	エアロビックダンス（観察・修正・指導の循環）
	4	エアロビックダンス（反復練習）
	5	レジスタンス（課題動作、フォーム確認）
	6	レジスタンス（観察・修正・指導の循環）
	7	レジスタンス（反復練習）
	8	中間考査
	9	エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習①）
	10	エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習②）
	11	エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習③）
	12	エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習④）
	13	エアロビックダンス・レジスタンス（指導練習⑤）
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	水中運動Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と実技を行う	
達成目標	健康運動実践指導者実技試験（水泳・水中運動）合格を目標とする	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	水中運動（アクアダンスの指導法①）
	2	水中運動（アクアダンスの指導法②）
	3	水中運動（アクアダンスの指導法③）
	4	水中運動（アクアダンスの指導法④）
	5	水中運動（アクアダンスの指導法⑤）
	6	水中運動（アクアダンスの指導法⑥）
	7	水中運動（アクアダンスの指導法⑦）
	8	中間考査
	9	水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法①）
	10	水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法②）
	11	水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法③）
	12	水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法④）
	13	水中運動（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法⑤）
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	健康運動実践指導者理論 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする	
教科書		
特記		
授業計画	1	健康づくり施策概論①
	2	健康づくり施策概論②
	3	健康づくり施策概論③
	4	運動生理学①
	5	運動生理学②
	6	機能解剖とバイオメカニクス①
	7	機能解剖とバイオメカニクス②
	8	中間考査
	9	栄養摂取と運動①
	10	栄養摂取と運動②
	11	運動指導の心理学的基礎①
	12	運動指導の心理学的基礎②
	13	体力測定と評価①
	14	体力測定と評価②
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	健康運動指導者検定試験に必要な知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	健康運動実践指導者筆記試験合格を目標とする	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	健康づくりと運動プログラム①
	2	健康づくりと運動プログラム②
	3	健康づくり運動の実際（ウォームアップとクールダウン、ストレッチング）
	4	健康づくり運動の実際（ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス）
	5	健康づくり運動の実際（水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ）
	6	運動障害と予防・救急処置①
	7	運動障害と予防・救急処置②
	8	中間考査
	9	問題演習①
	10	問題演習②
	11	問題演習③
	12	問題演習④
	13	問題演習⑤
	14	問題演習⑥
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	解剖学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	解剖学的視点に立った運動理解への応用を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、トレーニング指導者テキスト（理）、ボディナビゲーション	
特記		
授業計画	1	リハビリ①
	2	リハビリ②
	3	特別な対象のための機能解剖学①（高齢者）
	4	特別な対象のための機能解剖学②（高齢者）
	5	特別な対象のための機能解剖学③（子ども・女性・障がい者）
	6	特別な対象のための機能解剖学④（子ども・女性・障がい者）
	7	特別な対象のための機能解剖学⑤（子ども・女性・障がい者）
	8	中間考査対策①
	9	中間考査①
	10	生活習慣病、傷害から復帰までのプログラム①
	11	生活習慣病、傷害から復帰までのプログラム②
	12	生活習慣病、傷害から復帰までのプログラム③
	13	生活習慣病、傷害から復帰までのプログラム④
	14	生活習慣病、傷害から復帰までのプログラム⑤
	15	生活習慣病、傷害から復帰までのプログラム⑥
	16	期末考査対策①
	17	期末考査①
	18	傷害からの回復①
	19	傷害からの回復①
	20	アスレティックリハビリテーション
	21	中間考査対策②
	22	中間考査②
	23	問題演習①
	24	問題演習②
	25	問題演習③
	26	問題演習④
	27	問題演習⑤
	28	問題演習⑥
	29	問題演習⑦
	30	期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	運動生理学Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	筋の役割や呼吸循環系といった運動生理学の知識とトレーニングとの関連性を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	JATIの試験に必要な運動生理学範囲の知識を習得する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）	
特記		
授業計画	1	呼吸循環系（エネルギー代謝の基礎的情報①）
	2	呼吸循環系（エネルギー代謝の基礎的情報②）
	3	呼吸循環系（運動とエネルギー代謝①）
	4	呼吸循環系（運動とエネルギー代謝②）
	5	呼吸循環系（トレーニングとエネルギー代謝①）
	6	呼吸循環系（トレーニングとエネルギー代謝②）
	7	中間考査対策①
	8	中間考査①
	9	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（骨格筋の形態と機能①）
	10	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（骨格筋の形態と機能②）
	11	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋力発揮のメカニズム①）
	12	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋力発揮のメカニズム②）
	13	期末考査対策①
	14	期末考査①
	15	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋・神経系に対するトレーニング効果①）
	16	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋・神経系に対するトレーニング効果②）
	17	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（主な内分泌器官とホルモン①）
	18	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（主な内分泌器官とホルモン②）
	19	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（身体機能へのホルモンの作用①）
	20	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（身体機能へのホルモンの作用②）
	21	中間考査対策②
	22	中間考査②
	23	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋肥大におけるホルモンの役割①）
	24	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（筋肥大におけるホルモンの役割②）
	25	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（レジスタンストレーニングとホルモンの分泌①）
	26	骨格筋系、神経系、内分泌系と運動（レジスタンストレーニングとホルモンの分泌②）
	27	問題演習①
	28	問題演習②
	29	期末考査対策②
	30	期末考査②
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者理論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	JATIの試験に必要な理論編範囲を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	JATI試験の一般科目合格レベルを目標とする	
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）、JATI問題集	
特記		
授業計画	1	体力学総論
	2	機能解剖学（上肢）
	3	機能解剖学（脊柱と胸郭）
	4	機能解剖学（下肢）
	5	バイオメカニクス（基礎理論）
	6	バイオメカニクス（スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス）
	7	運動生理学①
	8	運動生理学②
	9	中間考査
	10	運動と栄養
	11	運動と医学①
	12	運動と医学②
	13	運動と医学③
	14	運動と心理
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者実践	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	J A T I の試験に必要な実践編範囲を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	J A T I 試験の専門科目合格レベルを目標とする	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、J A T I 問題集	
特記		
授業計画	1	トレーニング指導者論
	2	トレーニング効果の測定と評価①
	3	トレーニング効果の測定と評価②
	4	トレーニング理論とプログラム①
	5	トレーニング理論とプログラム②
	6	トレーニング理論とプログラム③
	7	トレーニング理論とプログラム④
	8	トレーニング理論とプログラム⑤
	9	中間考査
	10	トレーニングの実技と指導法①
	11	トレーニングの実技と指導法②
	12	トレーニングの実技と指導法③
	13	トレーニングの実技と指導法④
	14	トレーニングの実技と指導法⑤
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者演習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	JATIの試験に必要な理論編範囲を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する	
達成目標	JATI試験の一般科目合格レベルを目標とする	
教科書	トレーニング指導者テキスト（理）、JATI問題集	
特記		
授業計画	1	問題演習（理論編①）
	2	問題演習（理論編②）
	3	問題演習（理論編③）
	4	問題演習（理論編④）
	5	問題演習（理論編⑤）
	6	問題演習（理論編⑥）
	7	問題演習（理論編⑦）
	8	問題演習（理論編①～⑦）まとめ
	9	問題演習（理論編⑧）
	10	問題演習（理論編⑨）
	11	問題演習（理論編⑩）
	12	問題演習（理論編⑪）
	13	問題演習（理論編⑫）
	14	問題演習（理論編⑬）
	15	問題演習（理論編⑧～⑬）まとめ
	16	問題演習（理論編⑭）
	17	問題演習（理論編⑮）
	18	問題演習（理論編⑯）
	19	問題演習（理論編⑰）
	20	問題演習（理論編⑱）
	21	問題演習（理論編⑲）
	22	問題演習（理論編⑭～⑲）まとめ
	23	問題演習（理論編⑳）
	24	問題演習（理論編㉑）
	25	問題演習（理論編㉒）
	26	問題演習（理論編㉓）
	27	問題演習（理論編㉔）
	28	問題演習（理論編㉕）
	29	問題演習（理論編⑳～㉕）まとめ
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	JATIの試験に必要な実践編範囲を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を実施する	
達成目標	JATI試験の専門科目合格レベルを目標とする	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）、JATI問題集	
特記		
授業計画	1	問題演習（実践編①）
	2	問題演習（実践編②）
	3	問題演習（実践編③）
	4	問題演習（実践編④）
	5	問題演習（実践編⑤）
	6	問題演習（実践編⑥）
	7	問題演習（実践編⑦）
	8	問題演習まとめ（実践編①～⑦）
	9	問題演習（実践編⑧）
	10	問題演習（実践編⑨）
	11	問題演習（実践編⑩）
	12	問題演習（実践編⑪）
	13	問題演習（実践編⑫）
	14	問題演習（実践編⑬）
	15	問題演習まとめ（実践編⑧～⑬）
	16	問題演習（実践編⑭）
	17	問題演習（実践編⑮）
	18	問題演習（実践編⑯）
	19	問題演習（実践編⑰）
	20	問題演習（実践編⑱）
	21	問題演習（実践編⑲）
	22	問題演習まとめ（実践編⑭～⑲）
	23	問題演習（実践編⑳）
	24	問題演習（実践編㉑）
	25	問題演習（実践編㉒）
	26	問題演習（実践編㉓）
	27	問題演習（実践編㉔）
	28	問題演習（実践編㉕）
	29	問題演習まとめ（実践編⑭～⑲）
	30	模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない （不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能）	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践VI	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	走る、跳ぶに特化したトレーニング科学の概論を学ぶ	
授業の進め方	スピード向上トレーニングの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	スポーツ選手を対象とした運動指導方法を習得する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（スピードの概念、基本動作）
	2	体幹トレーニング概論①
	3	体幹トレーニング概論②
	4	スプリント（スタート動作①）
	5	スプリント（スタート動作②）
	6	スプリント（減速動作①）
	7	スプリント（減速動作②）
	8	スプリント（フリープロGRESSION）
	9	ジャンプ（スクワット～スクワットジャンプ）
	10	ジャンプ（連続ジャンプ～ターンジャンプへの応用）
	11	ラテラル動作（サイドウォーク～サイドステップ）
	12	ラテラル動作（切り返し動作）
	13	フリープロGRESSION応用（リニア～ラテラル、ラテラル～リニア）
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践Ⅶ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	パーソナルトレーニング指導において様々なトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ	
授業の進め方	パーソナルトレーニングの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（強度、頻度、回数の応用理論）
	2	スロートレーニング①
	3	スロートレーニング②
	4	スロートレーニング③
	5	徒手抵抗トレーニング①
	6	徒手抵抗トレーニング②
	7	徒手抵抗トレーニング③
	8	バリスティックトレーニング①
	9	バリスティックトレーニング②
	10	バリスティックトレーニング③
	11	様々なクライアントを対象としたプログラミング①
	12	様々なクライアントを対象としたプログラミング②
	13	様々なクライアントを対象としたプログラミング③
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実践Ⅷ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	様々な有酸素、無酸素運動のトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ	
授業の進め方	エンデュランストレーニングの種類と効果を理解し、実施する	
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成方法を習得する	
教科書	トレーニング指導者テキスト（実）	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（持久力に関する基礎理論）
	2	適切なウォームアップとクールダウン
	3	LSDトレーニング
	4	ATペーストレーニング
	5	タイムトライアル
	6	ビルドアップ
	7	ファルトレク
	8	インターバルトレーニング①
	9	インターバルトレーニング②
	10	レペティショントレーニング①
	11	レペティショントレーニング②
	12	様々なクライアントを対象としたプログラミング①
	13	様々なクライアントを対象としたプログラミング②
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	リハビリテーションⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	筋・筋膜への包括的なアプローチ方法について学ぶ	
授業の進め方	リハビリテーションの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	様々な対象に対して筋・筋膜へのアプローチ方法を習得する	
教科書	ボディナビゲーション	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（セルフモニタリングのやり方について）
	2	解剖学（表層筋）
	3	解剖学（深層筋）
	4	表層筋へのアプローチ①
	5	表層筋へのアプローチ②
	6	表層筋へのアプローチ③
	7	深層筋へのアプローチ①
	8	深層筋へのアプローチ②
	9	深層筋へのアプローチ③
	10	様々な対象へのアプローチ①
	11	様々な対象へのアプローチ②
	12	様々な対象へのアプローチ③
	13	様々な対象へのアプローチ④
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フィットネス実践Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ	
授業の進め方	グループレッスンの種類や効果を理解し、実施する	
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導方法を習得する	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（グループレッスンの種類、特徴、基本構成）
	2	レッスンプログラミング応用（ウォームアップとクールダウン指導）
	3	レッスンプログラミング応用（筋コンディショニング指導）
	4	レッスンプログラミング応用（その他ツール使用の指導）
	5	レッスンプログラミング応用（カウントとキューイング指導）
	6	レッスンプログラミング応用（モデルレッスン作成指導）
	7	レッスンプログラミング応用（モデルレッスン実践指導）
	8	特殊な対象への運動指導時の留意点①
	9	特殊な対象への運動指導時の留意点②
	10	エクササイズ指導①
	11	エクササイズ指導②
	12	エクササイズ指導③
	13	エクササイズ指導④
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	フィットネス実践Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を学ぶ	
授業の進め方	様々なジャンルのダンスを理解し、実施する	
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を習得する	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ガイダンス（ダンスジャンルの紹介、デモレッスン）
	2	応用エクササイズ①
	3	応用エクササイズ②
	4	応用エクササイズ③
	5	応用エクササイズ④
	6	応用エクササイズ⑤
	7	応用エクササイズ⑥
	8	応用エクササイズ⑦
	9	チーム練習①
	10	チーム練習②
	11	チーム練習③
	12	チーム練習④
	13	チーム練習⑤
	14	チーム練習⑥
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習を実施する	
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得する	
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級	
特記		
授業計画	1	幼児の発達の様相（スキヤモンの発育曲線に見る運動の発達順序）
	2	幼児の発達の様相（乳幼児から幼児期への身体発達）
	3	幼児期における運動中枢の未分化と発達過程における左右交替の原理）
	4	幼児における外発的動機づけと内発的動機づけ
	5	学習の適時性（臨界期とレディネス）
	6	学習の適時性（身体的心理面からの幼児の発達的特徴の理解）
	7	学習曲線のタイプ別理解（タイプA、B）
	8	学習曲線のタイプ別理解（タイプC、D、E）
	9	運動(技能)学習の過程（初期効果）
	10	運動(技能)学習の過程（高原現象について）
	11	運動(技能)学習の過程（学習の移転）
	12	学習方法について（全習法と分習法の選択）
	13	教育の6原則（動機、目的、実習の原則について）
	14	教育の6原則（現実性、経験、関連性の原則）
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	期末考査の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	テーブルの作成③
	8	関数を使用してのデータ集計①
	9	関数を使用してのデータ集計②
	10	関数を使用してのデータ集計③
	11	関数を使用しての条件付き計算④
	12	関数を使用しての条件付き計算⑤
	13	関数を使用しての条件付き計算⑥
	14	関数を使用した文字列の整形や変更①
	15	関数を使用した文字列の整形や変更②
	16	関数を使用した文字列の整形や変更③
	17	グラフの作成①
	18	グラフの作成②
	19	グラフの作成③
	20	グラフの書式設定①
	21	グラフの書式設定②
	22	グラフの書式設定③
	23	グラフの書式設定④
	24	グラフの書式設定⑤
	25	オブジェクトの挿入や書式設定①
	26	オブジェクトの挿入や書式設定②
	27	オブジェクトの挿入や書式設定③
	28	オブジェクトの挿入や書式設定④
	29	オブジェクトの挿入や書式設定⑤
	30	オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文章の作成
	2	文章内の移動
	3	文章の書式設定①
	4	文章の書式設定②
	5	オプションの設定、表示のカスタマイズ①
	6	オプションの設定、表示のカスタマイズ②
	7	文章の印刷、保存①
	8	文章の印刷、保存②
	9	文字列・段落の挿入①
	10	文字列・段落の挿入②
	11	文字列・段落の書式設定①
	12	文字列・段落の書式設定②
	13	文字列・段落の並び替え、グループ化①
	14	文字列・段落の並び替え、グループ化②
	15	文字列・段落の並び替え、グループ化③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	F P 基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	5単位			
授業回数	75回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	F P 3級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	46	タックスプランニング⑦
	2	ライフプランニングと資金計画②	47	タックスプランニング⑧
	3	ライフプランニングと資金計画③	48	タックスプランニング⑨
	4	ライフプランニングと資金計画④	49	タックスプランニング⑩
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	50	タックスプランニング⑪
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	51	タックスプランニング⑫
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	52	タックスプランニング⑬
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	53	不動産①
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	54	不動産②
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	55	不動産③
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	56	不動産④
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	57	不動産⑤
	13	ライフプランニングと資金計画⑬	58	不動産⑥
	14	ライフプランニングと資金計画⑭	59	不動産⑦
	15	ライフプランニングと資金計画⑮	60	不動産⑧
	16	リスク管理①	61	不動産⑨
	17	リスク管理②	62	不動産⑩
	18	リスク管理③	63	不動産⑪
	19	リスク管理④	64	不動産⑫
	20	リスク管理⑤	65	相続・事業承継①
	21	リスク管理⑥	66	相続・事業承継②
	22	リスク管理⑦	67	相続・事業承継③
	23	リスク管理⑧	68	相続・事業承継④
	24	リスク管理⑨	69	相続・事業承継⑤
	25	リスク管理⑩	70	相続・事業承継⑥
	26	リスク管理⑪	71	相続・事業承継⑦
	27	リスク管理⑫	72	相続・事業承継⑧
	28	金融資産運用①	73	相続・事業承継⑨
	29	金融資産運用②	74	相続・事業承継⑩
	30	金融資産運用③	75	確認テスト
	31	金融資産運用④		
	32	金融資産運用⑤		
	33	金融資産運用⑥		
	34	金融資産運用⑦		
	35	金融資産運用⑧		
	36	金融資産運用⑨		
	37	金融資産運用⑩		
	38	金融資産運用⑪		
	39	金融資産運用⑫		
	40	タックスプランニング①		
	41	タックスプランニング②		
	42	タックスプランニング③		
	43	タックスプランニング④		
	44	タックスプランニング⑤		
	45	タックスプランニング⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	F P 応用			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る			
達成目標	問題演習によりF P 3級の基礎知識を定着させる			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①	31	不動産問題演習⑥
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②	32	不動産問題演習⑦
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③	33	不動産問題演習⑧
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④	34	不動産問題演習⑨
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤	35	相続・事業承継問題演習①
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥	36	相続・事業承継問題演習②
	7	リスク管理問題演習①	37	相続・事業承継問題演習③
	8	リスク管理問題演習②	38	相続・事業承継問題演習④
	9	リスク管理問題演習③	39	相続・事業承継問題演習⑤
	10	リスク管理問題演習④	40	相続・事業承継問題演習⑥
	11	リスク管理問題演習⑤	41	相続・事業承継問題演習⑦
	12	金融資産運用問題演習①	42	相続・事業承継問題演習⑧
	13	金融資産運用問題演習②	43	相続・事業承継問題演習⑨
	14	金融資産運用問題演習③	44	総復習
	15	金融資産運用問題演習④	45	確認テスト
	16	金融資産運用問題演習⑤		
	17	タックスプランニング問題演習①		
	18	タックスプランニング問題演習②		
	19	タックスプランニング問題演習③		
	20	タックスプランニング問題演習④		
	21	タックスプランニング問題演習⑤		
	22	タックスプランニング問題演習⑥		
	23	タックスプランニング問題演習⑦		
	24	タックスプランニング問題演習⑧		
	25	タックスプランニング問題演習⑨		
	26	不動産問題演習①		
	27	不動産問題演習②		
	28	不動産問題演習③		
	29	不動産問題演習④		
	30	不動産問題演習⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	F P 総合			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	F P 3級に合格できるレベルの知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	総合演習（ケーススタディ）①	31	過去問研究⑳
	2	総合演習（ケーススタディ）②	32	過去問研究㉑
	3	総合演習（ケーススタディ）③	33	過去問研究㉒
	4	総合演習（ケーススタディ）④	34	過去問研究㉓
	5	総合演習（ケーススタディ）⑤	35	過去問研究㉔
	6	総合演習（ケーススタディ）⑥	36	過去問研究㉕
	7	総合演習（ケーススタディ）⑦	37	過去問研究㉖
	8	総合演習（ケーススタディ）⑧	38	過去問研究㉗
	9	総合演習（ケーススタディ）⑨	39	過去問研究㉘
	10	総合演習（ケーススタディ）⑩	40	過去問研究㉙
	11	過去問研究①	41	直前答案練習①
	12	過去問研究②	42	直前答案練習②
	13	過去問研究③	43	直前答案練習③
	14	過去問研究④	44	直前答案練習④
	15	過去問研究⑤	45	直前答案練習⑤
	16	過去問研究⑥	46	直前答案練習⑥
	17	過去問研究⑦	47	直前答案練習⑦
	18	過去問研究⑧	48	直前答案練習⑧
	19	過去問研究⑨	49	直前答案練習⑨
	20	過去問研究⑩	50	直前答案練習⑩
	21	過去問研究⑪	51	直前答案練習⑪
	22	過去問研究⑫	52	直前答案練習⑫
	23	過去問研究⑬	53	直前答案練習⑬
	24	過去問研究⑭	54	直前答案練習⑭
	25	過去問研究⑮	55	直前答案練習⑮
	26	過去問研究⑯	56	直前答案練習⑯
	27	過去問研究⑰	57	直前答案練習⑰
	28	過去問研究⑱	58	直前答案練習⑱
	29	過去問研究㉑	59	直前答案練習㉑
	30	過去問研究㉒	60	直前答案練習㉒
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	時短に効くショートカットキー
	2	入力の時短①
	3	入力の時短②
	4	入力の時短③
	5	入力の時短④
	6	二度手間を防ぐ①
	7	二度手間を防ぐ②
	8	二度手間を防ぐ③
	9	集計作業効率化①
	10	集計作業効率化②
	11	集計作業効率化③
	12	関数による計算・判定①
	13	関数による計算・判定②
	14	実例演習
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム
	2 小切手・手形の実務上のポイント
	3 入出金伝票と現金出納帳
	4 当座預金出納帳と手形記入帳
	5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分
	6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①
	7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②
	8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③
	9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④
	10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤
	11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥
	12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①
	13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②
	14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③
	15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①
	16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③
	18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	21 個人住民税の徴収及び納付①
	22 個人住民税の徴収及び納付②
	23 印紙税の基礎知識
	24 受取利息の会計処理
	25 消費税法の概要①
	26 消費税法の概要②
	27 消費税の会計処理
	28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	所得税の基礎知識④
	5	所得税の基礎知識⑤
	6	所得税の基礎知識⑥
	7	所得税の基礎知識⑦
	8	年末調整のしかた①
	9	年末調整のしかた②
	10	年末調整のしかた③
	11	年末調整のしかた④
	12	年末調整のしかた⑤
	13	年末調整のしかた⑥
	14	年末調整のしかた⑦
	15	法定調書の流れ①
	16	法定調書の流れ②
	17	法定調書の流れ③
	18	法定調書の流れ④
	19	法定調書の流れ⑤
	20	法定調書の流れ⑥
	21	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	22	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	23	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	24	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出④
	25	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出⑤
	26	労働保険の概要及び会計処理①
	27	労働保険の概要及び会計処理②
	28	労働保険の概要及び会計処理③
	29	労働保険の概要及び会計処理④
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	財務会計
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業学科
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択
授業方法	講義及び演習
単位数	2単位
授業回数	30回
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 外貨建会計①
	2 外貨建会計②
	3 外貨建会計③
	4 リース取引①
	5 リース取引②
	6 リース取引③
	7 キャッシュ・フロー計算書①
	8 キャッシュ・フロー計算書②
	9 キャッシュ・フロー計算書③
	10 キャッシュ・フロー計算書④
	11 キャッシュ・フロー計算書⑤
	12 税効果会計①
	13 税効果会計②
	14 税効果会計③
	15 税効果会計④
	16 退職給付会計①
	17 退職給付会計②
	18 退職給付会計③
	19 退職給付会計④
	20 消費税法①
	21 消費税法②
	22 消費税法③
	23 消費税法④
	24 消費税法⑤
	25 法人税法①
	26 法人税法②
	27 法人税法③
	28 法人税法④
	29 法人税法⑤
	30 確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITパスポート基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	4単位			
授業回数	45回			
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業活動①	31	ソフトウェア①
	2	企業活動②	32	ソフトウェア②
	3	法務①	33	ハードウェア
	4	法務②	34	ヒューマンインターフェース
	5	経営戦略マネジメント①	35	マルチメディア
	6	経営戦略マネジメント②	36	データベース①
	7	技術戦略マネジメント①	37	データベース②
	8	技術戦略マネジメント②	38	データベース③
	9	ビジネスインダストリ①	39	ネットワーク①
	10	ビジネスインダストリ②	40	ネットワーク②
	11	システム戦略①	41	ネットワーク③
	12	システム戦略②	42	セキュリティ①
	13	システム企画①	43	セキュリティ②
	14	システム企画②	44	セキュリティ③
	15	システム開発技術①	45	確認テスト
	16	システム開発技術②		
	17	ソフトウェア開発管理技術①		
	18	ソフトウェア開発管理技術②		
	19	プロジェクトマネジメント		
	20	サービスマネジメント①		
	21	サービスマネジメント②		
	22	システム監査①		
	23	システム監査②		
	24	基礎理論①		
	25	基礎理論②		
	26	アルゴリズムとプログラミング①		
	27	アルゴリズムとプログラミング②		
	28	コンピュータ構成要素①		
	29	コンピュータ構成要素②		
	30	システム構成要素		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート応用	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	1単位	
授業回数	30回	
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITパスポート総まとめ①
	2	ITパスポート総まとめ②
	3	ITパスポート総まとめ③
	4	ITパスポート総まとめ④
	5	ITパスポート総まとめ⑤
	6	ITパスポート総まとめ⑥
	7	ITパスポート総まとめ⑦
	8	ITパスポート総まとめ⑧
	9	ITパスポート総まとめ⑨
	10	ITパスポート総まとめ⑩
	11	ITパスポート総まとめ⑪
	12	ITパスポート総まとめ⑫
	13	ITパスポート総まとめ⑬
	14	ITパスポート総まとめ⑭
	15	ITパスポート総まとめ⑮
	16	ITパスポート総合問題対策①
	17	ITパスポート総合問題対策②
	18	ITパスポート総合問題対策③
	19	ITパスポート総合問題対策④
	20	ITパスポート総合問題対策⑤
	21	ITパスポート総合問題対策⑥
	22	ITパスポート総合問題対策⑦
	23	ITパスポート総合問題対策⑧
	24	ITパスポート総合問題対策⑨
	25	ITパスポート総合問題対策⑩
	26	ITパスポート総合問題対策⑪
	27	ITパスポート総合問題対策⑫
	28	ITパスポート総合問題対策⑬
	29	ITパスポート総合問題対策⑭
	30	ITパスポート総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	販売員の役割①	31	商業集積④
	2	販売員の役割②	32	商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33	商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34	小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35	小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36	小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37	小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38	小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39	小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40	顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41	顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42	顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43	顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44	顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45	確認テスト
	16	流通における小売業①		
	17	流通における小売業②		
	18	流通における小売業③		
	19	流通における小売業④		
	20	流通における小売業⑤		
	21	流通における小売業⑥		
	22	組織形態別小売業①		
	23	組織形態別小売業②		
	24	組織形態別小売業③		
	25	店舗形態別小売業①		
	26	店舗形態別小売業②		
	27	店舗形態別小売業③		
	28	商業集積①		
	29	商業集積②		
	30	商業集積③		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識応用			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択			
授業方法	講義及び演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	証券の設定と出店①	31	商品計画①
	2	証券の設定と出店②	32	商品計画②
	3	証券の設定と出店③	33	商品計画③
	4	リージョナルプロモーション①	34	販売計画及び仕入れ計画①
	5	リージョナルプロモーション②	35	販売計画及び仕入れ計画②
	6	リージョナルプロモーション③	36	販売計画及び仕入れ計画③
	7	顧客志向型売り場づくり①	37	価格設定①
	8	顧客志向型売り場づくり②	38	価格設定②
	9	顧客志向型売り場づくり③	39	価格設定③
	10	ストアオペレーション①	40	在庫管理①
	11	ストアオペレーション②	41	在庫管理②
	12	ストアオペレーション③	42	在庫管理③
	13	ストアオペレーション④	43	販売管理①
	14	ストアオペレーション⑤	44	販売管理②
	15	ストアオペレーション⑥	45	確認テスト
	16	梱包技術①		
	17	梱包技術②		
	18	梱包技術③		
	19	ディスプレイ①		
	20	ディスプレイ②		
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
	26	マーチャンダイジング②		
	27	マーチャンダイジング③		
	28	マーチャンダイジング④		
	29	マーチャンダイジング⑤		
	30	マーチャンダイジング⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振り返り
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	マーケティングと顧客満足
	2	マーケティング分析方法①
	3	マーケティング分析方法②
	4	マーケティングと財務知識①
	5	マーケティングと財務知識②
	6	マーケティングと財務知識③
	7	マーケティングと財務知識④
	8	マーケティング手法①
	9	マーケティング手法②
	10	確認テスト
	11	事例から学ぶマーケティング①
	12	事例から学ぶマーケティング②
	13	事例から学ぶマーケティング③
	14	事例から学ぶマーケティング④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤
	16	事例から学ぶマーケティング⑥
	17	事例から学ぶマーケティング⑦
	18	事例から学ぶマーケティング⑧
	19	事例から学ぶマーケティング⑨
	20	事例から学ぶマーケティング⑩
	21	マーケティング演習①
	22	マーケティング演習②
	23	マーケティング演習③
	24	マーケティング演習④
	25	マーケティング演習⑤
	26	マーケティング演習⑥
	27	マーケティング演習⑦
	28	マーケティング演習⑧
	29	マーケティング演習⑨
	30	マーケティング演習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	企画作成①
	2	企画作成②
	3	企画作成③
	4	企画作成④
	5	企画作成⑤
	6	中間発表①
	7	中間発表②
	8	企画のブラッシュアップ①
	9	企画のブラッシュアップ②
	10	企画のブラッシュアップ③
	11	企画のブラッシュアップ④
	12	企画のブラッシュアップ⑤
	13	企画のブラッシュアップ⑥
	14	企画のブラッシュアップ⑦
	15	企画のブラッシュアップ⑧
	16	オンラインプレゼン方法①
	17	オンラインプレゼン方法②
	18	オンラインプレゼン方法③
	19	企画のブラッシュアップ⑨
	20	企画のブラッシュアップ⑩
	21	企画のブラッシュアップ⑪
	22	企画のブラッシュアップ⑫
	23	企画のブラッシュアップ⑬
	24	企画のブラッシュアップ⑭
	25	企画のブラッシュアップ⑮
	26	企画のブラッシュアップ⑯
	27	企画発表（校内）①
	28	企画発表（校内）②
	29	企画発表（企業向け）①
	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	秘書実務	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義及び演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	秘書的業務についての基礎的な知識と技能を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	秘書的業務を行うために必要とされる知識と技能を身に付ける	
教科書	秘書検定2級に面白いほど受かる本 (KADOKAWA)	
特記		
授業計画	1	理論編 必要とされる資質1
	2	理論編 必要とされる資質2
	3	理論編 必要とされる資質3
	4	問題演習1
	5	問題演習2
	6	問題演習3
	7	理論編 職務知識1
	8	理論編 職務知識2
	9	理論編 職務知識3
	10	理論編 職務知識4
	11	問題演習4
	12	問題演習5
	13	問題演習6
	14	理論編 一般知識1
	15	理論編 一般知識2
	16	理論編 一般知識3
	17	問題演習7
	18	問題演習8
	19	実技編 技能1
	20	実技編 技能2
	21	実技編 技能3
	22	実技編 技能4
	23	問題演習9
	24	問題演習10
	25	問題演習11
	26	実技編 マナー・接遇1
	27	実技編 マナー・接遇2
	28	実技編 マナー・接遇3
	29	問題演習12
	30	問題演習13
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業計画書(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	秘書総合	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	秘書的業務についての知識と技能を身に付けるための応用的な演習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、復習講義を行い知識と技能の定着を図る	
達成目標	秘書的業務の応用的な知識を学習し、技能が発揮できるようになる	
教科書	秘書検定2級に面白いほど受かる本（KADOKAWA）、配布プリント	
特記		
授業計画	1	記述対策1
	2	記述対策2
	3	記述対策3
	4	記述対策4
	5	記述対策5
	6	分野別演習問題1
	7	分野別演習問題2
	8	分野別演習問題3
	9	分野別演習問題4
	10	分野別演習問題5
	11	分野別演習問題6
	12	分野別演習問題7
	13	分野別演習問題8
	14	分野別演習問題9
	15	分野別演習問題10
	16	総合演習問題1
	17	総合演習問題2
	18	総合演習問題3
	19	総合演習問題4
	20	総合演習問題5
	21	過去問答練1
	22	過去問答練2
	23	過去問答練3
	24	過去問答練4
	25	過去問答練5
	26	過去問答練6
	27	過去問答練7
	28	過去問答練8
	29	過去問答練9
	30	過去問答練10
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内におけるチェックテストの解答状況	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的 I 数的推理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式、不定方程式）
	2	方程式（不等式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数）
	4	整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質）
	5	整数・計算パズル（数列、n進法）
	6	整数・計算パズル（その他、整数に関する問題）
	7	科目試験第1回
	8	割合と比（割合、比）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	割合と比（濃度）
	13	速さ（速さ）
	14	速さ（旅人算）
	15	速さ（旅人算、通過算）
	16	速さ（流水算、時計算）
	17	科目試験第2回
	18	その他文章題（仕事算、給排水算）
	19	その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	20	その他文章題（年齢算）
	21	その他文章題（平均算）
	22	場合の数（場合の数）
	23	場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率）
	24	確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
	25	科目試験第3回
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法）
	2	論理（ド・モルガンの法則、論理と集合）
	3	集合の要素（ベン図）
	4	集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定）
	5	順序（順序の変動）
	6	順序（順序の数値条件）
	7	順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表）
	8	方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	9	科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて）
	10	方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係）
	11	対応（対応関係、スケジュール表）
	12	対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	13	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）
	14	うそつき
	15	暗号
	16	推理・手順（他人の判断から判断する1）、資料解釈（実数）
	17	推理・手順（他人の判断から判断する2、カードゲーム）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	18	推理・手順（石取りゲーム、てんびん）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	19	推理・手順（手順）、資料解釈（増加率）
	20	資料解釈（いろいろな資料）、科目試験2回目
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的 空間把握	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡、道順・一筆書き・位相
	2	平面構成
	3	正多面体・展開図、立体構成（サイコロ）
	4	立体構成（積木の問題、投影図、立体の切断、回転体）
	5	平面図形の計量（角度、平方根の計算）
	6	平面図形の計量（三平方の定理、相似比）
	7	平面図形の計量（面積比）
	8	平面図形の計量（円、扇形と移動図形）
	9	立体図形の計量
	10	立体図形の計量
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学 I 政治	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治の基本概念（政治と権力、近代国家）、政治過程論（立法過程）
	2	政治の基本概念（国家論）、政治過程論（大衆社会の政治）、政治制度論（権力分立論）
	3	政治制度論（議院内閣制、大統領制、各国の政治制度）
	4	日本国憲法の特徴、基本的人権総論
	5	幸福追求権
	6	平等権、精神的自由権
	7	経済的自由権、人身の自由
	8	社会権
	9	受益権、憲法改正の手続き
	10	国会の機構と運営
	11	国会の機構と運営
	12	内閣の機構と運営
	13	内閣の機構と運営
	14	裁判所の機構と運営
	15	裁判所の機構と運営
	16	地方自治
	17	地方自治
	18	政治過程論（政党と政党制、圧力団体）
	19	政治過程論（選挙制度）
	20	政治総復習
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	25回	
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識、労働問題・環境問題など、社会の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済及び社会の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容
	2	現代の企業
	3	現代の市場
	4	現代の市場
	5	国民所得
	6	経済成長と景気循環
	7	通貨制度と金融政策
	8	通貨制度と金融政策
	9	財政制度と財政政策
	10	財政制度と財政政策
	11	日本経済の動向
	12	日本経済の動向
	13	貿易と外国為替
	14	貿易と外国為替
	15	国際経済の動向
	16	国際経済の動向
	17	国際経済の動向
	18	経済分野総復習
	19	経済分野総復習
	20	社会理論
	21	労働問題
	22	社会保障
	23	環境問題
	24	環境問題
	25	国際関係
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形
	2	世界の気候
	3	世界の農業
	4	世界の資源
	5	世界の工業
	6	地図の特色と利用
	7	生活と地域
	8	日本地誌
	9	世界地誌（アジア、アフリカ）
	10	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅱ 日本史	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	鎌倉時代
	4	室町時代
	5	封建社会の確立
	6	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	7	江戸時代（幕末）、明治維新
	8	立憲体制の確立
	9	近代文化の発展
	10	大正、昭和
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅲ 世界史	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な世界史の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代文明、東洋史（殷～漢）
	2	東洋史（魏～唐）
	3	東洋史（宋～元）
	4	東洋史（明～清）
	5	東洋史（清の崩壊）
	6	近代史（第二次世界大戦）
	7	近代史（第二次世界大戦後の世界）
	8	西洋史（絶対主義）
	9	西洋史（市民革命）
	10	西洋史（第一次世界大戦）
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅳ 倫理・文学・芸術	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術、西洋文学、西洋音楽、西洋建築
	5	江戸時代までの日本文学、明治時代以降の日本文学
	6	人文科学演習
	7	人文科学演習
	8	人文科学演習
	9	人文科学演習
	10	人文科学演習
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践言語 I 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握 1、文法 1、四字熟語 1、ことわざ 1、文学史 1
	2	要旨把握 2、文法 2、四字熟語 2、ことわざ 2、文学史 2
	3	内容合致 1、文法 3、四字熟語 3、ことわざ 3、文学史 3
	4	内容合致 2、文法 4、四字熟語 4、ことわざ 4、文学史 4
	5	文章整序 1、文法 5、四字熟語 5、ことわざ 5、文学史 5
	6	空欄補充 2、文法 6、四字熟語 6、ことわざ 6、文学史 6
	7	空欄補充 1、文法 7、四字熟語 7、ことわざ 7、文学史 7
	8	空欄補充 2、文法 8、四字熟語 8、ことわざ 8、文学史 8
	9	文章理解・国語演習
	10	文章理解・国語演習
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践答案練習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	基礎的なレベルの模擬試験②
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	基礎的なレベルの模擬試験③
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	一部応用レベルの問題を含む模擬試験①
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一部応用レベルの問題を含む模擬試験②
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	一部応用レベルの問題を含む模擬試験③
	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	一部応用レベルの問題を含む模擬試験④
	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	実戦レベルの問題を含む模擬試験①
	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	実戦レベルの問題を含む模擬試験②
	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	実戦レベルの問題を含む模擬試験③
	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	6単位			
授業回数	90回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1	46	地方公務員タイプの模擬試験 3
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	国家公務員タイプの模擬試験 2	49	地方公務員タイプの模擬試験 4
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	国家公務員タイプの模擬試験 3	52	地方公務員タイプの模擬試験 5
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	国家公務員タイプの模擬試験 4	55	地方公務員タイプの模擬試験 6
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	国家公務員タイプの模擬試験 5	58	地方公務員タイプの模擬試験 7
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	国家公務員タイプの模擬試験 6	61	地方公務員タイプの模擬試験 8
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	62	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	63	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	国家公務員タイプの模擬試験 7	64	地方公務員タイプの模擬試験 9
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	65	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	66	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	国家公務員タイプの模擬試験 8	67	地方公務員タイプの模擬試験10
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	68	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	69	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	国家公務員タイプの模擬試験 9	70	地方公務員タイプの模擬試験11
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	71	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	72	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	国家公務員タイプの模擬試験10	73	地方公務員タイプの模擬試験12
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	74	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	75	模擬試験の解説（知識系科目）
	31	国家公務員タイプの模擬試験11	76	地方公務員タイプの模擬試験13
	32	模擬試験の解説（知能系科目）	77	模擬試験の解説（知能系科目）
	33	模擬試験の解説（知識系科目）	78	模擬試験の解説（知識系科目）
	34	国家公務員タイプの模擬試験12	79	地方公務員タイプの模擬試験14
	35	模擬試験の解説（知能系科目）	80	模擬試験の解説（知能系科目）
	36	模擬試験の解説（知識系科目）	81	模擬試験の解説（知識系科目）
	37	国家公務員タイプの模擬試験13	82	地方公務員タイプの模擬試験15
	38	模擬試験の解説（知能系科目）	83	模擬試験の解説（知能系科目）
	39	模擬試験の解説（知識系科目）	84	模擬試験の解説（知識系科目）
	40	地方公務員タイプの模擬試験 1	85	地方公務員タイプの模擬試験16
	41	模擬試験の解説（知能系科目）	86	模擬試験の解説（知能系科目）
	42	模擬試験の解説（知識系科目）	87	模擬試験の解説（知識系科目）
	43	地方公務員タイプの模擬試験 2	88	地方公務員タイプの模擬試験17
	44	模擬試験の解説（知能系科目）	89	模擬試験の解説（知能系科目）
	45	模擬試験の解説（知識系科目）	90	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1項目15分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野1）
	2	時事（政治分野2）
	3	時事（政治分野3）
	4	時事（経済分野1）
	5	時事（経済分野2）
	6	時事（文化1）
	7	時事（文化2）
	8	時事（文化3）
	9	時事（科学1）
	10	時事（科学2）
	11	時事（科学3）
	12	時事（科学4）
	13	時事（科学5）
	14	時事（国際問題1）
	15	時事（国際問題2）
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	模擬試験（適性試験）1
	14	模擬試験（適性試験）2
	15	模擬試験（適性試験）3
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員教養論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方
	2	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習1
	3	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習2
	4	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習3
	5	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習4
	6	作文練習1
	7	作文練習2
	8	作文練習3
	9	作文練習4
	10	作文練習5
	11	作文練習6
	12	作文練習7
	13	作文練習8
	14	作文練習9
	15	作文練習10
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践数的 数的総合	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	数的推理・判断推理の基礎知識を定着させ、応用問題も解答できるようにする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式
	2	方程式
	3	整数・計算パズル
	4	整数・計算パズル
	5	割合と比
	6	割合と比
	7	速さ
	8	速さ
	9	仕事算
	10	場合の数
	11	確率
	12	論理
	13	集合の要素
	14	順序
	15	順序
	16	位置・方位
	17	対応
	18	勝敗・うそつき
	19	暗号、推理・手順
	20	科目試験
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学 I 生物・地学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生殖と発生、遺伝と変異
	3	刺激の受容と反応
	4	内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応
	5	生物の集団、生物の進化と系統
	6	地球の姿と動く大地、地震、岩石
	7	大気と海洋、気象現象、日本の四季
	8	太陽系と宇宙の構造
	9	太陽系と惑星
	10	恒星の世界、地球と人類
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・科学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現、力
	2	運動方程式、エネルギー
	3	運動量、熱
	4	波動
	5	電気と磁力、原子
	6	物質の構造
	7	化学結合、物質の状態
	8	酸化と還元
	9	無機化合物、有機化合物
	10	生活と環境の化学
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝、生殖と発生）
	2	生物（遺伝と変異、刺激の需要と反応）
	3	生物（内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応）
	4	地学（気象現象、日本の四季）
	5	地学（太陽系と宇宙の構造、太陽系と惑星）
	6	物理（力1、力2、運動方程式）
	7	物理（電気、電磁と磁力）
	8	化学（物質の構造、物質の状態）
	9	化学（物質の変化）
	10	自然科学演習
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策1
	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策2
	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策3
	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策4
	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策5
	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策6
	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策7
	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策8
	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策9
	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策10
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	知識系科目全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策1
	2	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策2
	3	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策3
	4	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策4
	5	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策5
	6	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策6
	7	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策7
	8	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策8
	9	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策9
	10	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策10
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	実践答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	3単位	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	基礎的な内容に一部実践的な問題を加えた50題の模擬試験で30点以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	基礎的なレベルの模擬試験②
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	基礎的なレベルの模擬試験③
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	一部応用レベルの問題を含む模擬試験①
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一部応用レベルの問題を含む模擬試験②
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	一部応用レベルの問題を含む模擬試験③
	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	一部応用レベルの問題を含む模擬試験④
	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	実戦レベルの問題を含む模擬試験①
	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	実戦レベルの問題を含む模擬試験②
	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	実戦レベルの問題を含む模擬試験③
	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	4単位			
授業回数	60回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1	31	地方公務員タイプの模擬試験11
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	32	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	33	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2	34	地方公務員タイプの模擬試験12
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	35	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	36	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3	37	地方公務員タイプの模擬試験13
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	38	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	39	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4	40	地方公務員タイプの模擬試験14
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	41	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5	43	地方公務員タイプの模擬試験15
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	44	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	地方公務員タイプの模擬試験 6	46	地方公務員タイプの模擬試験16
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	地方公務員タイプの模擬試験 7	49	地方公務員タイプの模擬試験17
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	地方公務員タイプの模擬試験 8	52	地方公務員タイプの模擬試験18
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	地方公務員タイプの模擬試験 9	55	地方公務員タイプの模擬試験19
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	地方公務員タイプの模擬試験10	58	地方公務員タイプの模擬試験20
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	憲法総論
	2	基本的人権総論
	3	基本的人権総論
	4	包括的基本権
	5	法の下での平等
	6	思想及び良心の自由、学問の自由
	7	信教の自由
	8	表現の自由
	9	表現の自由
	10	表現の自由
	11	職業選択の自由
	12	財産権
	13	人身の自由
	14	社会権、参政権、受益権
	15	国会
	16	国会
	17	内閣
	18	裁判所
	19	裁判所
	20	財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義
	21	総合演習 1
	22	総合演習 2
	23	総合演習 3
	24	総合演習 4
	25	総合演習 5
	26	総合演習 6
	27	総合演習 7
	28	総合演習 8
	29	総合演習 9
	30	総合演習 10
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	民法			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択			
授業方法	講義			
単位数	3単位			
授業回数	35回			
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	権利能力、意思能力と行為能力	31	弁済の提供、受領遅滞、解除の効果など
	2	無効・取消し	32	贈与、請負、委任など
	3	意思の不存在、瑕疵ある意思表示	33	民法演習 1
	4	代理権	34	民法演習 2
	5	代理行為、無権代理	35	民法演習 3
	6	無権代理と相続、表見代理		
	7	時効総説、時効の完成猶予・更新		
	8	取得時効、消滅時効、物権の効力		
	9	物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義）		
	10	物権変動と登記の要否		
	11	即時取得制度、占有の効力		
	12	共有、地役権		
	13	担保物権総論、留置権		
	14	抵当権		
	15	復代理、質権		
	16	法定地上権、譲渡担保		
	17	債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償		
	18	債権者代位権		
	19	詐害行為取消権（債権者取消権）		
	20	連帯債務、保証債務		
	21	債権譲渡		
	22	弁済、相殺		
	23	契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除		
	24	売買（1）		
	25	売買（2）		
	26	賃貸借		
	27	不当利得		
	28	不法行為		
	29	婚姻、親子関係		
	30	相続、遺留分		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	行政法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	行政法の一般的な法理論
	2	行政法の一般的な法理論
	3	行政上の法律関係、行政行為の意義・分類
	4	行政行為の効力
	5	行政行為の瑕疵
	6	行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅
	7	行政行為の附款、行政強制
	8	行政罰、行政調査
	9	行政契約、行政計画
	10	行政立法
	11	行政手続法総則
	12	申請に対する処分、不利益処分
	13	行政指導、処分等の求め
	14	意見公募手続等、手続の瑕疵
	15	行政機関情報公開法
	16	行政救済法一般・行政不服審査法
	17	行政不服審査法
	18	行政不服審査法・行政事件訴訟法総則行政事件訴訟法総則
	19	取消訴訟（訴訟要件）
	20	取消訴訟（訴訟要件）
	21	取消訴訟（訴訟要件）
	22	取消訴訟（審理等）
	23	取消訴訟（審理等）
	24	国家補償
	25	国家補償
	26	国家補償
	27	行政組織法
	28	公物法・地方自治法
	29	地方自治法
	30	総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ1
	2	情報収集と考察 テーマ2
	3	情報収集と考察 テーマ3
	4	情報収集と考察 テーマ4
	5	情報収集と考察 テーマ5
	6	情報収集と考察 テーマ6
	7	情報収集と考察 テーマ7
	8	情報収集と考察 テーマ8
	9	情報収集と考察 テーマ9
	10	情報収集と考察 テーマ10
	11	情報収集と考察 テーマ11
	12	情報収集と考察 テーマ12
	13	情報収集と考察 テーマ13
	14	情報収集と考察 テーマ14
	15	情報収集と考察 テーマ15
	16	情報収集と考察 テーマ16
	17	情報収集と考察 テーマ17
	18	情報収集と考察 テーマ18
	19	情報収集と考察 テーマ19
	20	情報収集と考察 テーマ20
	21	情報収集と考察 テーマ21
	22	情報収集と考察 テーマ22
	23	情報収集と考察 テーマ23
	24	情報収集と考察 テーマ24
	25	情報収集と考察 テーマ25
	26	情報収集と考察 テーマ26
	27	情報収集と考察 テーマ27
	28	情報収集と考察 テーマ28
	29	情報収集と考察 テーマ29
	30	情報収集と考察 テーマ30
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザイン 基礎			
実務家教員				
学部・学科	スポーツ産業学科			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択			
授業方法	演習			
単位数	3単位			
授業回数	45回			
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う			
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト			
特記				
授業計画	1	公務員全般ガイダンス	31	模擬面接（実践）Ⅲ
	2	面接の基本	32	模擬面接（実践）Ⅲ
	3	自己PR作成	33	模擬面接（実践）Ⅲ
	4	志望動機作成	34	模擬面接（実践）Ⅲ
	5	面接効果測定	35	模擬面接（実践）Ⅲ
	6	受験職種研究1	36	模擬面接（実践）Ⅲ
	7	受験職種研究2	37	模擬面接（実践）Ⅲ
	8	模擬面接（基礎）Ⅰ	38	模擬面接（実践）Ⅳ
	9	受験職種研究3	39	模擬面接（実践）Ⅳ
	10	受験職種研究4	40	模擬面接（実践）Ⅳ
	11	模擬面接（基礎）Ⅱ	41	模擬面接（実践）Ⅳ
	12	模擬面接（基礎）Ⅱ	42	模擬面接（実践）Ⅳ
	13	模擬面接（基礎）Ⅱ	43	模擬面接（実践）Ⅳ
	14	模擬面接（基礎）Ⅱ	44	模擬面接（実践）Ⅳ
	15	模擬面接（実践）Ⅰ	45	模擬面接（実践）Ⅳ
	16	模擬面接（実践）Ⅰ		
	17	模擬面接（実践）Ⅰ		
	18	模擬面接（実践）Ⅰ		
	19	模擬面接（実践）Ⅰ		
	20	模擬面接（実践）Ⅰ		
	21	模擬面接（実践）Ⅰ		
	22	模擬面接（実践）Ⅰ		
	23	模擬面接（実践）Ⅱ		
	24	模擬面接（実践）Ⅱ		
	25	模擬面接（実践）Ⅱ		
	26	模擬面接（実践）Ⅱ		
	27	模擬面接（実践）Ⅱ		
	28	模擬面接（実践）Ⅱ		
	29	模擬面接（実践）Ⅱ		
	30	模擬面接（実践）Ⅱ		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢で評価			
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員春試験	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）
	2	受験職種研究 2（職種①）
	3	受験職種研究 3（職種①）
	4	模擬個人面接 1（職種①）
	5	模擬個人面接 2（職種①）
	6	模擬個人面接 3（職種①）
	7	受験職種研究 4（職種②）
	8	受験職種研究 5（職種②）
	9	受験職種研究 6（職種②）
	10	模擬個人面接 4（職種②）
	11	模擬個人面接 5（職種②）
	12	模擬個人面接 6（職種②）
	13	受験職種研究 7（職種③）
	14	模擬個人面接 7（職種③）
	15	模擬個人面接 8（職種③）
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員秋試験	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）
	2	受験職種研究 2（職種①）
	3	受験職種研究 3（職種①）
	4	模擬個人面接 1（職種①）
	5	模擬個人面接 2（職種①）
	6	模擬個人面接 3（職種①）
	7	受験職種研究 4（職種②）
	8	受験職種研究 5（職種②）
	9	受験職種研究 6（職種②）
	10	模擬個人面接 4（職種②）
	11	模擬個人面接 5（職種②）
	12	模擬個人面接 6（職種②）
	13	受験職種研究 7（職種③）
	14	受験職種研究 8（職種③）
	15	受験職種研究 9（職種③）
	16	模擬個人面接 7（職種③）
	17	模擬個人面接 8（職種③）
	18	模擬個人面接 9（職種③）
	19	受験職種研究 10（職種④）
	20	受験職種研究 11（職種④）
	21	受験職種研究 12（職種④）
	22	模擬個人面接 10（職種④）
	23	模擬個人面接 11（職種④）
	24	模擬個人面接 12（職種④）
	25	受験職種研究 13（職種⑤）
	26	受験職種研究 14（職種⑤）
	27	受験職種研究 15（職種⑤）
	28	模擬個人面接 13（職種⑤）
	29	模擬個人面接 14（職種⑤）
	30	模擬個人面接 15（職種⑤）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	2単位	
授業回数	30回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	適性試験練習7
	14	適性試験練習8
	15	適性試験練習9
	16	適性試験練習10
	17	適性試験練習11
	18	適性試験練習12
	19	適性試験練習13
	20	適性試験練習14
	21	模擬試験（適性試験）1
	22	模擬試験（適性試験）2
	23	模擬試験（適性試験）3
	24	模擬試験（適性試験）4
	25	模擬試験（適性試験）5
	26	模擬試験（適性試験）6
	27	模擬試験（適性試験）7
	28	模擬試験（適性試験）8
	29	模擬試験（適性試験）9
	30	模擬試験（適性試験）10
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	警察署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（警察官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（警察官）による講義を基にした演習	
授業計画	1	警察官の仕事内容
	2	警察官の組織
	3	警察学校の生活
	4	警察官に求められる資質
	5	研究レポートの作成1
	6	研究レポートの作成2
	7	研究レポートの作成3
	8	研究レポートの作成4
	9	研究レポートの作成5
	10	レポートの検証
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	官公庁(国家省庁等)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。	
授業の進め方	実務経験者（国家省庁等）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家省庁）による講義を基にした演習	
授業計画	1	官庁訪問の仕組み
	2	省庁の仕事内容
	3	官公庁講義 1
	4	官公庁講義 2
	5	官公庁講義 3
	6	研究レポートの作成 1
	7	研究レポートの作成 2
	8	研究レポートの作成 3
	9	研究レポートの作成 4
	10	レポートの検証
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務IV	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（消防官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に関する研究	
授業計画	1	消防官の仕事内容
	2	実務者講義1（消防官に求められる資質）
	3	研究レポート（消防官に求められる資質）
	4	レポートの検証
	5	実務者講義2（自助・共助・公助）
	6	研究レポート（自助・共助・公助）
	7	レポートの検証
	8	実務者講義3（消防と我が人生）
	9	研究レポート（消防と我が人生）
	10	レポートの検証
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	官公庁(国家公安職)から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う。	
授業の進め方	実務経験者（国家公安職）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家公安職）による講義を基にした演習	
授業計画	1	公安職の仕事内容
	2	公安職に求められる資質
	3	研究レポートの作成1
	4	研究レポートの作成2
	5	研究レポートの作成3
	6	研究レポートの作成4
	7	研究レポートの作成5
	8	研究レポートの作成6
	9	研究レポートの作成7
	10	レポートの検証
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義	
授業計画	1	職種別の業務内容、試験内容に関する講義
	2	受験手続に関する講義
	3	職種別ガイダンス1
	4	職種別ガイダンス2
	5	職種別ガイダンス3
	6	日程別受験先選択の為の講義
	7	職種別ガイダンス4
	8	職種別ガイダンス5
	9	職種別ガイダンス6
	10	職種別ガイダンス7
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度などによって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
単位数	1単位	
授業回数	10回	
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令やサービス規程を学ぶ	
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記	公官庁の研修を多く手掛ける公務人材開発協会による講義と演習	
授業計画	1	税制の理解①
	2	税制の理解②
	3	税制の理解③
	4	税制に関するレポート作成
	5	公務員の倫理とサービス規程①
	6	公務員の倫理とサービス規程②
	7	公務員の倫理とサービス規程③
	8	サービス規定に関するレポート作成①
	9	サービス規定に関するレポート作成②
	10	レポートの検証
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習	
授業計画	1	法律概論
	2	民法①（講義）
	3	民法課題研究
	4	民法②（講義）
	5	民法課題研究
	6	憲法①（講義）
	7	憲法②（講義）
	8	憲法課題研究
	9	行政法①（講義）
	10	行政法②（講義）
	11	行政法課題研究
	12	刑法①（講義）
	13	刑法課題研究
	14	刑法②（講義）
	15	刑法課題研究
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業学科	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
単位数	1単位	
授業回数	15回	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	防衛省職員による防災に関する実務経験を基にした講義と実習	
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究1
	4	課題研究2
	5	課題研究3
	6	課題研究4
	7	課題研究5
	8	課題研究6
	9	研究発表シナリオ作成1
	10	研究発表シナリオ作成2
	11	研究発表準備1
	12	研究発表準備2
	13	研究発表プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	
	21	
	22	
	23	
	24	
	25	
	26	
	27	
	28	
	29	
	30	
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評を基に評価	
備考	授業科目ごとの出席時間数が履修時間数の3分の2に満たない場合は科目修得試験を受験できない (不足する時間数に相当する補講を受講すれば受験可能)	